



青森県の畜産

平成28年3月



とうもろこし収穫作業

目次

■ 第1章 農業の概要

- 1) 青森県の自然……………1
- 2) 本県農業の地位……………2
- 3) 農業産出額……………4

■ 第2章 畜産の概要

- 1) 畜産産出額……………5
- 2) 主要家畜の頭羽数……………5

■ 第3章 家畜飼養動向

- 1) 乳用牛……………6
- 2) 肉用牛……………8
- 3) 豚……………10
- 4) 採卵鶏……………12
- 5) ブロイラー……………13
- 6) その他……………14

■ 第4章 畜産物の流通と価格

- 1) 牛乳……………15
- 2) 肉用牛……………17
- 3) 豚……………19
- 4) 鶏卵……………21
- 5) ブロイラー……………23
- 6) 畜産物支出金額、購入数量……………24

■ 第5章 畜産物の生産費と収益性

- 1) 牛乳……………25
- 2) 肉用牛……………26
- 3) 豚……………28

■ 第6章 草地と飼料

- 1) 自給飼料の状況……………29
- 2) 草地開発面積……………30
- 3) 配合飼料の状況……………31

■ 第7章 家畜衛生

- 1) 家畜防疫事業の推移……………32
- 2) 監視伝染病発生状況……………33

■ 第8章 環境保全

- 環境汚染発生状況……………34

■ 第9章 参考資料

- 1) 青森県酪農・肉用牛生産近代化計画の目標……………35
- 2) 青森県養豚・養鶏振興プランの目標……………36
- 3) 畜産行政組織の概要……………38
- 4) 試験研究機関……………39
- 5) 行政区域・各機関所在地……………39
- 6) 畜産関係機関・団体……………40
- 7) 畜産関係施設……………41
- 8) 県内の特徴的な動き……………42
- 9) 県基幹種雄牛……………44

第1章 農業の概要

1) 青森県の自然

[位置]

本県は、本州の最北端に位置し、北は津軽海峡を隔てて北海道と相對し、東は太平洋、西は日本海に囲まれ、南は秋田・岩手両県に接している。

青森市から東京までは、国道4号では約740km、鉄道距離（奥羽本線・東北新幹線）は約720kmで、時間距離は鉄道では最短で約3時間、自動車では東北縦貫自動車道を利用すると約8時間、飛行機では約1時間15分となっている。

[面積]

本県の面積は、全国第8位の9,645km²で全国の約3%を占めているが、人口密度は全国41位となっており、1人あたりの面積が広く、豊かな自然に恵まれている。

[地形]

県の中央部の奥羽山脈を境として、日本海側の津軽地方では、奥羽山脈の延長にある山地と出羽山脈の延長にある山地によって囲まれた広大な沖積平野である肥沃な津軽平野が岩木川流域に広がっている。

また、奥羽山脈に北端には、青森市を中心とした青森平野が広がっている。

一方、太平洋側の県南地方では、北上山地から続く火山灰土におおわれた台地や段丘が広く分布し、下北半島の首部から十和田市・八戸市に及ぶ地域には丘陵地が形成されている。

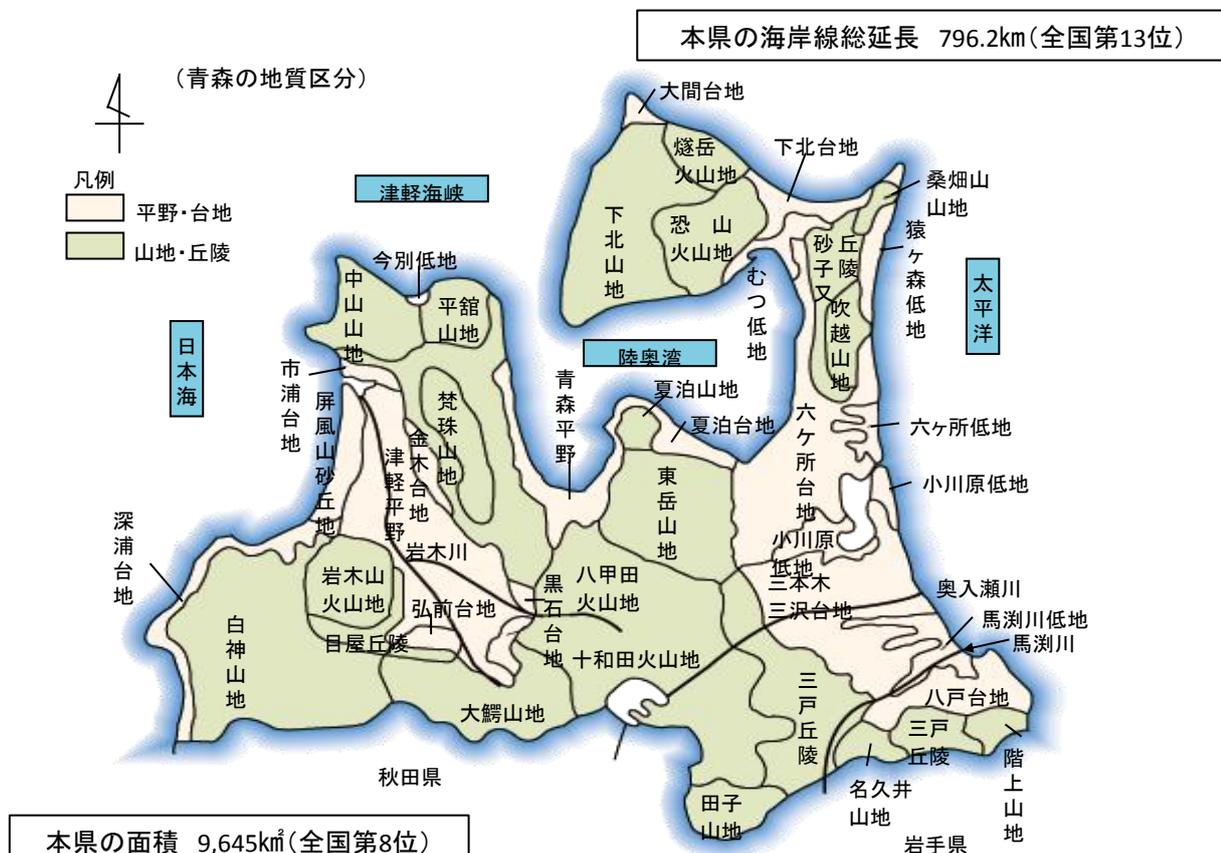
西の津軽半島と東の下北半島はそれぞれ北に延び、両半島の真ん中に陸奥湾が存在する。

[気候]

夏が短く冬が長い冷涼な気候で、四季がはっきりしている。

夏季は、津軽地方は比較的気温が高く温暖な日が多いが、県南地方では春の終わりから夏にかけてヤマセ（偏東風）が吹き、低温の日が多い。

冬季は、西ないし北西の季節風が多くなり、津軽地方では雪の日が多く多雪となるが、県南地方は冷え込みが厳しいものの、晴天の日が多く雪も少ない。



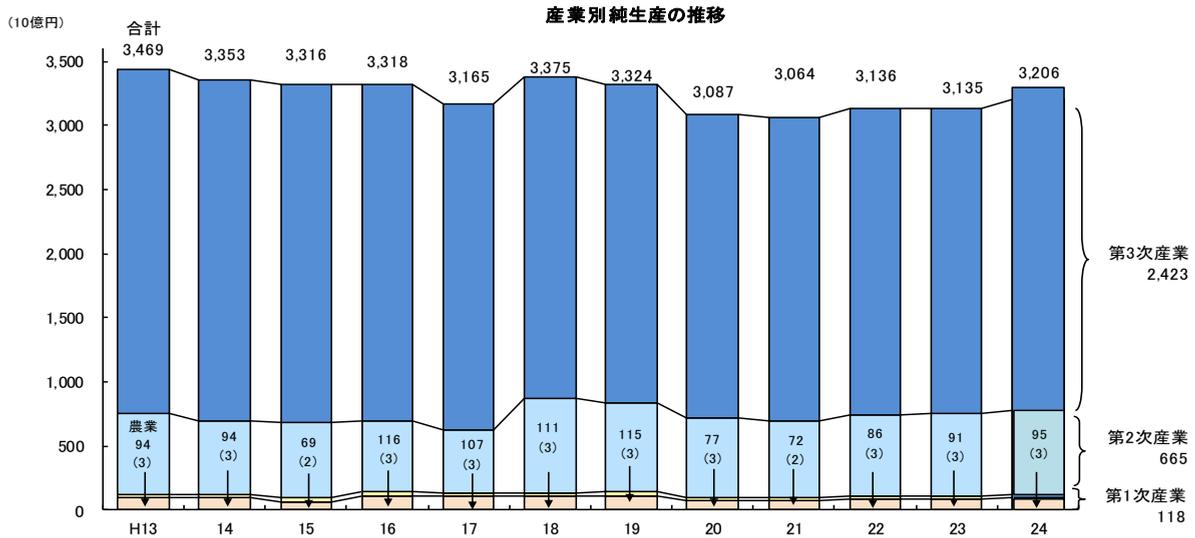
資料: 図説 農林水産業の動向(平成28年3月版)(青森県農林水産部)

2) 本県農林水産業の地位

～全国より高い第1次産業純生産割合～

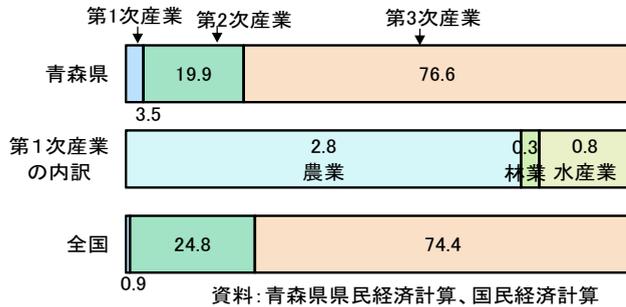
県内純生産に占める第1次産業の割合は3.7%、全産業の就業人口に占める第1次産業の割合(22年)は13.0%と、それぞれ全国平均の0.9%、5.0%に比べ高い水準となっている。

また、平成17年の産業連関表からみると、県全体の総移輸出額に占める第1次産業の割合は12.0%、農水産物の供給先である製造業(食料品)が13.7%で、第1次産業生産が県経済に及ぼす影響は大きく、農林水産業は本県の基幹産業として位置づけられる。

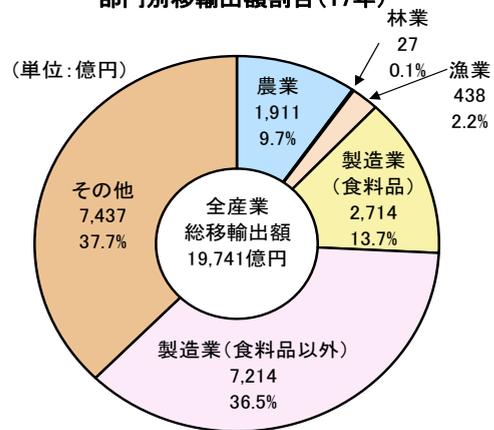


資料: 青森県県民経済計算

産業別純生産構成割合(22年)



部門別移輸出額割合(17年)



資料: 青森県産業連関表

就業人口に占める第1次産業就業人口の割合(22年)



注) ()は人数(千人)

資料: 青森県県民経済計算、国民経済計算

資料: 図説 農林水産業の動向(平成28年3月版)(青森県農林水産部)

主 要 指 標

区 分		単位	年次	青森県	東 北	全 国	青 森 /東北	青 森 /全国	東北 順位	全国 順位	
総	農 家 数	戸	27	44,528	332,874	2,153,045	13.4	2.1	6	22	
	販 売 農 家 数	戸	27	34,593	239,340	1,326,755	14.5	2.6	5	18	
	専 兼 業 別	専 業 農 家 数	戸	12,452	60,314	439,857	20.6	2.8	1	9	
		一 種 兼 業 農 家	戸	7,925	38,399	166,046	20.6	4.8	1	1	
		二 種 兼 業 農 家	戸	14,216	140,627	720,852	10.1	2.0	6	21	
	主 副 業 別	主 業 農 家	戸	13,186	54,233	292,795	24.3	4.5	1	3	
		準 主 業 農 家	戸	6,978	59,653	256,500	11.7	2.7	6	13	
		副 業 的 農 家	戸	14,429	125,454	777,460	11.5	1.9	6	27	
	販 売 農 家 の 世 帯 員 数	人	22	174,519	1,299,438	6,503,219	13.4	2.7	6	15	
	農 業 就 業 人 口	人	27	63,471	372,732	2,090,014	17.0	3.0	3	9	
	基 幹 的 農 業 従 事 者	人	27	58,615	315,376	1,767,599	18.6	3.3	3	9	
	耕 地 面 積	ha	26	154,800	854,200	4,537,000	18.1	3.4	1	4	
	田	ha	26	82,300	611,400	2,465,000	13.5	3.3	6	10	
	畑	ha	26	72,500	242,800	2,072,000	29.9	3.5	1	4	
	耕 地 利 用 率	%	26	82.2	83.6	91.8	—	—	5	39	
	水 稻 収 穫 量	t	26	296,500	2,354,000	8,607,000	12.6	3.4	6	11	
	りんご収穫量	t	26	468,000	620,400	816,300	75.4	57.3	1	1	
	乳 用 牛 飼 養 頭 数	頭	26	12,500	109,520	1,395,000	11.4	0.9	5	20	
	肉 用 牛 飼 養 頭 数	頭	26	57,000	346,700	2,567,000	16.4	2.2	3	11	
	野 菜 栽 培 延 べ 面 積	ha	26	12,000	45,000	388,400	26.7	3.1	1	8	
	農 業 産 出 額	億円	26	2,879	12,298	842,790	23.4	0.3	1	8	
	主 要 作 物	米	億円	26	388	3,431	14,370	11.3	2.7	6	13
		野 菜	億円	26	668	2,205	22,421	30.3	3.0	1	12
		果 実	億円	26	833	1,911	7,628	43.6	10.9	1	1
		う ち り ん ご	億円	26	800	—	—	—	—	1	1
		畜 産	億円	26	880	4,145	29,912	21.2	2.9	2	11
	生 産 農 業 所 得	億円	26	1,002	4,330	27,965	23.1	3.6	1	6	
	農 家 総 所 得	千円	25	3,672	4,485	4,727	81.9	77.7	6	—	
	農 家 所 得	①	千円	25	2,271	2,845	2,862	79.8	79.4	6	—
		②	千円	25	1,313	1,327	1,321	98.9	99.4	4	—
		農 業 生 産 関 連 事 業 所 得	千円	25	3	21	10	14.3	30.0	3	—
		農 外 所 得	千円	25	955	1,497	1,531	63.8	62.4	6	—
	農 業 依 存 度 ② / ①	%	25	57.8	46.6	46.2	124.0	125.3	1	—	

資料：図説 農林水産業の動向(平成28年3月版)(青森県農林水産部)

3) 農業産出額

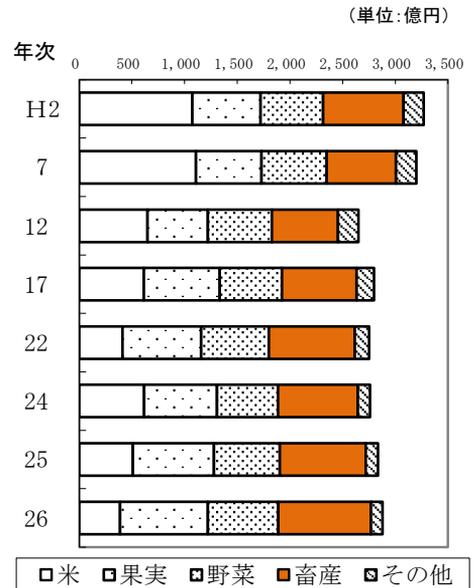
農業産出額とは

年内に生産された農産物総量（自家消費分も含む）から、種子及び飼料などの中間生産物を控除した各農産物数量に、農家の販売価格（農家受取価格）を乗じて算出したものである。

青森県農業産出額

(単位：億円)

年	合計	米	果実	野菜	畜産	その他
H2	3,270	1,074	647	593	766	190
7	3,200	1,109	621	619	656	195
12	2,649	647	573	608	628	193
17	2,797	613	722	589	710	163
22	2,751	410	746	643	818	134
24	2,759	617	692	576	760	114
25	2,835	508	772	625	815	115
26	2,879	388	833	668	880	110



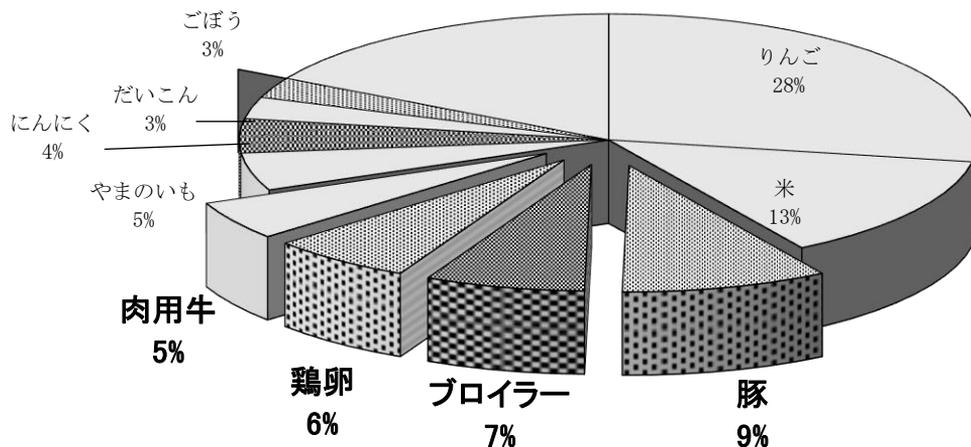
資料：生産農業所得統計

県内産出額上位10品目（平成26年次）

(単位：億円)

順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
品目	りんご	米	豚	ブロイラー	鶏卵	肉用牛	やまのいも	にんにく	だいこん	ごぼう
産出額	800	388	260	201	181	143	138	126	80	76

資料：生産農業所得統計



第2章 畜産の概要

1) 畜産産出額

平成26年の畜産産出額は、前年に比べて8%増の880億円となっており、畜種別では鶏387億円（対前年比6.9%増）、豚260億円（対前年比9.2%増）、肉用牛143億円（対前年比11.7%増）、乳用牛76億円（対前年比2.7%増）となっている。

（単位：億円）

年次	合計	乳用牛		肉用牛	豚	鶏			その他
		生乳				鶏卵	ブロイラー		
S 55	586	107	80	52	186	220	174	-	24
60	623	105	85	67	194	239	156	-	19
H2	766	103	83	97	255	283	142	-	28
7	649	97	78	72	216	257	131	-	6
12	627	78	71	75	185	282	137	-	8
17	710	73	68	81	223	324	147	153	10
22	818	72	69	120	258	357	169	182	12
24	760	75	69	116	224	335	150	179	11
25	815	74	68	128	238	362	169	187	12
26	880	76	69	143	260	387	181	201	14

※ 平成12年以前は、ブロイラーの産出額の調査は行っていない。

資料：生産農業所得統計

2) 主要家畜の頭羽数

(1) 飼養戸数、頭羽数（乳用牛、肉用牛：平成27年2月1日、豚、鶏：平成26年2月1日）

（単位：戸、頭、千羽）

乳用牛				肉用牛				豚		採卵鶏		ブロイラー	
飼養戸数	飼養頭数			飼養戸数	飼養頭数			飼養戸数	飼養頭数	飼養戸数	飼養羽数 成鶏めす	飼養戸数	飼養羽数
	合計	2歳以上	2歳未満		合計	肉用種	乳用種						
219	11,600	8,120	3,520	1,020	55,000	24,600	30,500	107	381,800	29	4,913	66	6,844

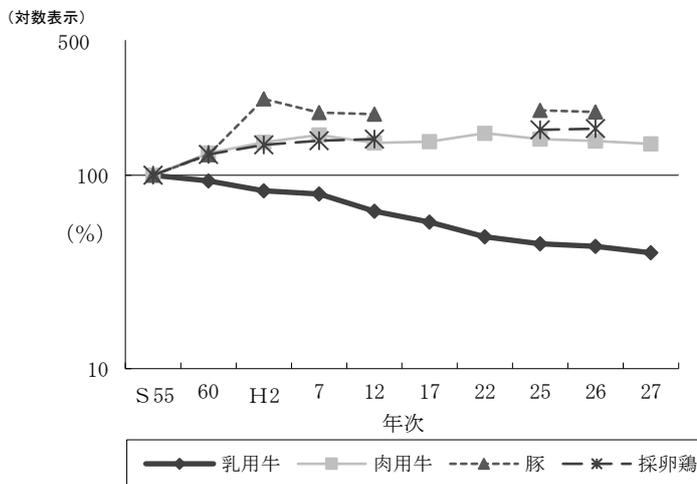
資料：畜産統計

(2) 家畜飼養頭羽数の対昭和55年比の推移

現在の家畜飼養頭羽数を昭和55年と比較すると、豚（213%）、採卵鶏（174%）、肉用牛（145%）は伸びており、乳用牛（40%）は減少している。

（単位：%）（対数表示）

年次	乳用牛	肉用牛	豚	採卵鶏
S 55	100	100	100	100
60	93	130	128	128
H2	83	148	248	144
7	80	161	211	151
12	65	147	207	154
17	57	149	/	/
22	48	165	/	/
25	44	154	216	172
26	43	150	213	174
27	40	145	/	/



※平成17年、22年、27年は農業センサス実施年のため豚及び採卵鶏の調査データなし

資料：畜産統計・食鳥流通統計

第3章 家畜飼養動向

1) 乳用牛

(1) 飼養戸数及び飼養頭数

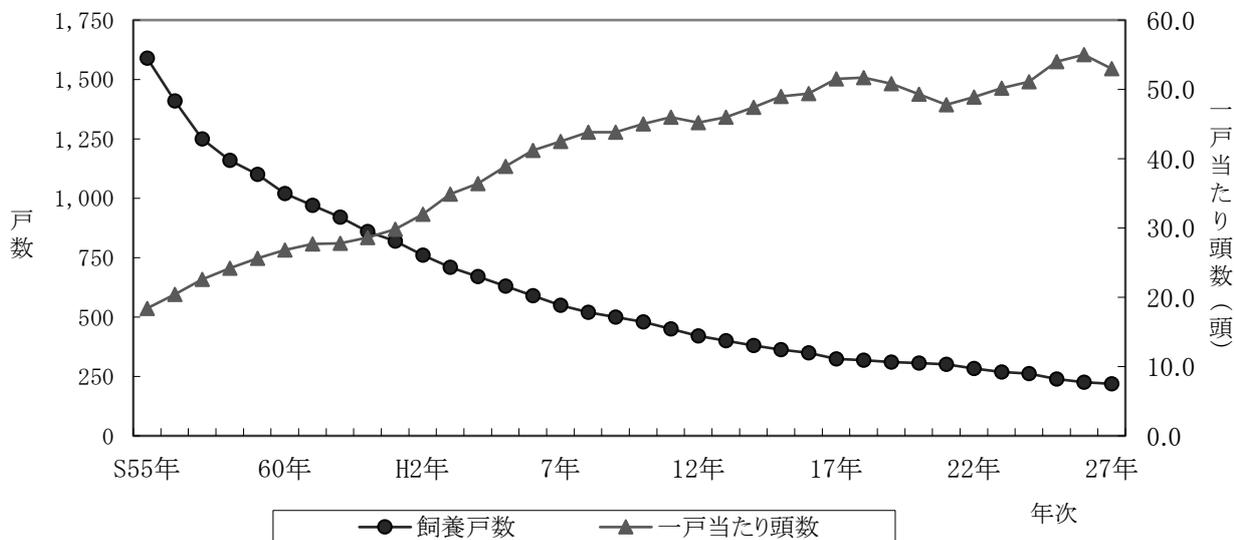
飼養戸数は年々減少し、平成27年は前年より7戸減の219戸となった。飼養頭数も減少傾向にあり、平成27年は前年に比べて7.2%減の11,600頭となっている。

(単位:戸、頭)

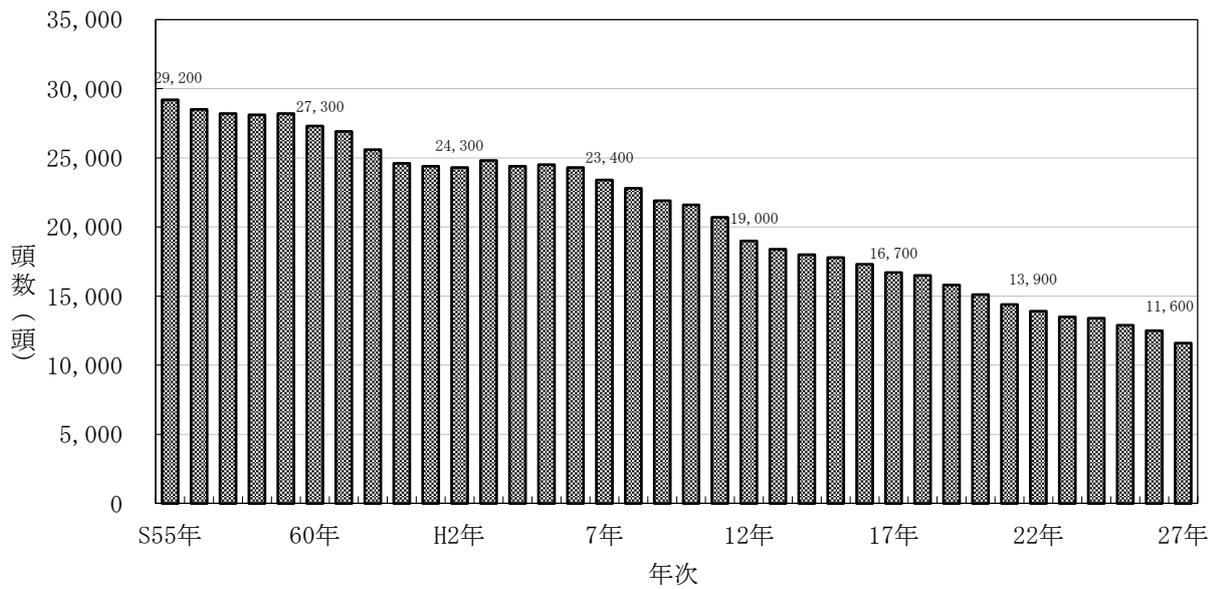
区分	飼養戸数	飼養頭数(めす)								一戸当たり頭数
		合計	2歳以上						2歳未満	
			計	経産牛			未經産牛			
				小計	搾乳牛	乾乳牛				
青森県	昭55.2.1	1,590	29,200	21,100	18,300	14,820	3,480	2,810	8,090	18
	60.2.1	1,020	27,300	19,510	17,200	14,000	3,200	2,310	7,820	27
	平2.2.1	760	24,300	16,300	15,200	12,900	2,250	1,120	8,040	32
	7.2.1	550	23,400	16,200	14,700	12,600	2,060	1,490	7,210	43
	12.2.1	420	19,000	13,900	12,700	11,000	1,700	1,200	5,170	45
	17.2.1	324	16,700	11,500	10,500	8,970	1,540	940	5,250	52
	22.2.1	284	13,900	9,920	9,690	8,390	1,300	230	3,940	49
24.2.1	青森	262	13,400	9,350	9,070	7,800	1,270	280	4,010	51
	全国	20,100	1,449,000	1,012,000	942,600	812,700	129,900	69,700	436,700	72
25.2.1	青森	239	12,900	9,200	8,870	7,800	1,070	320	3,710	54
	全国	19,400	1,423,000	992,100	923,400	798,300	125,100	67,800	431,300	73
26.2.1	青森	226	12,500	8,740	8,480	7,460	1,030	260	3,720	55
	全国	18,600	1,395,000	957,800	893,400	772,500	121,000	64,400	436,800	75
27.2.1	青森	219	11,600	8,120	7,880	6,930	950	230	3,520	53
	全国	17,700	1,371,000	934,100	869,700	750,100	119,600	64,400	437,200	78

資料：畜産統計

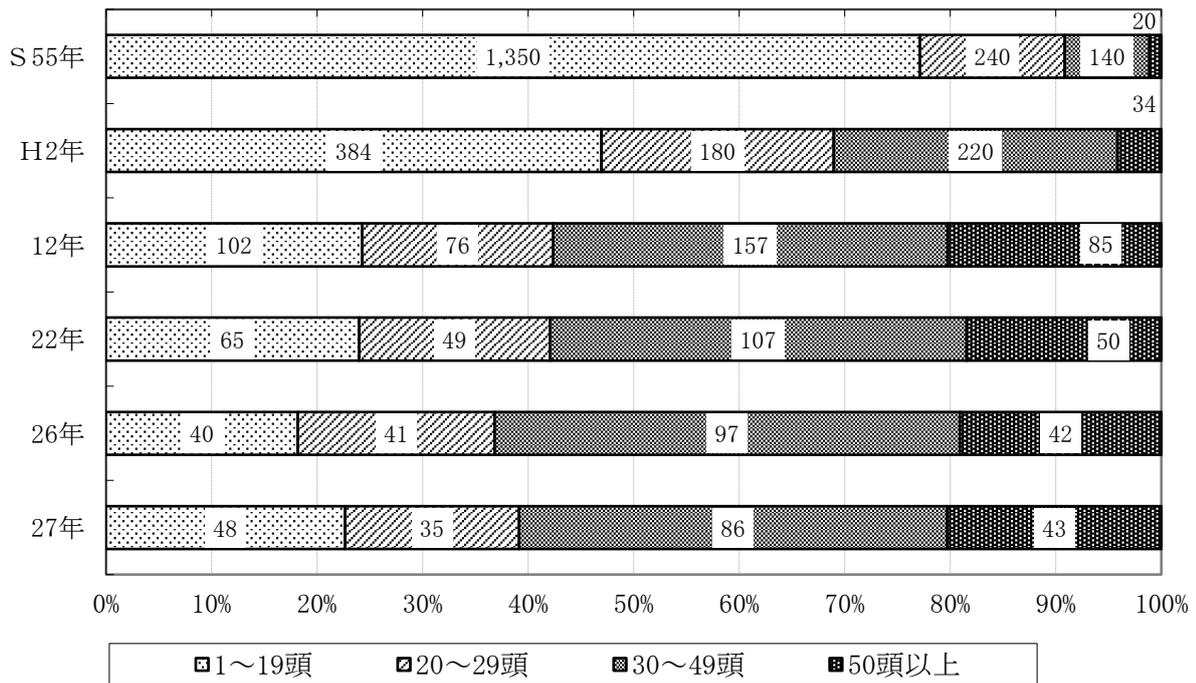
①飼養戸数及び一戸当たりの飼養頭数の推移



②飼養頭数の推移



(2) 頭数規模別飼養戸数とその割合 (成畜)



資料：畜産統計

2) 肉用牛

(1) 飼養戸数及び飼養頭数

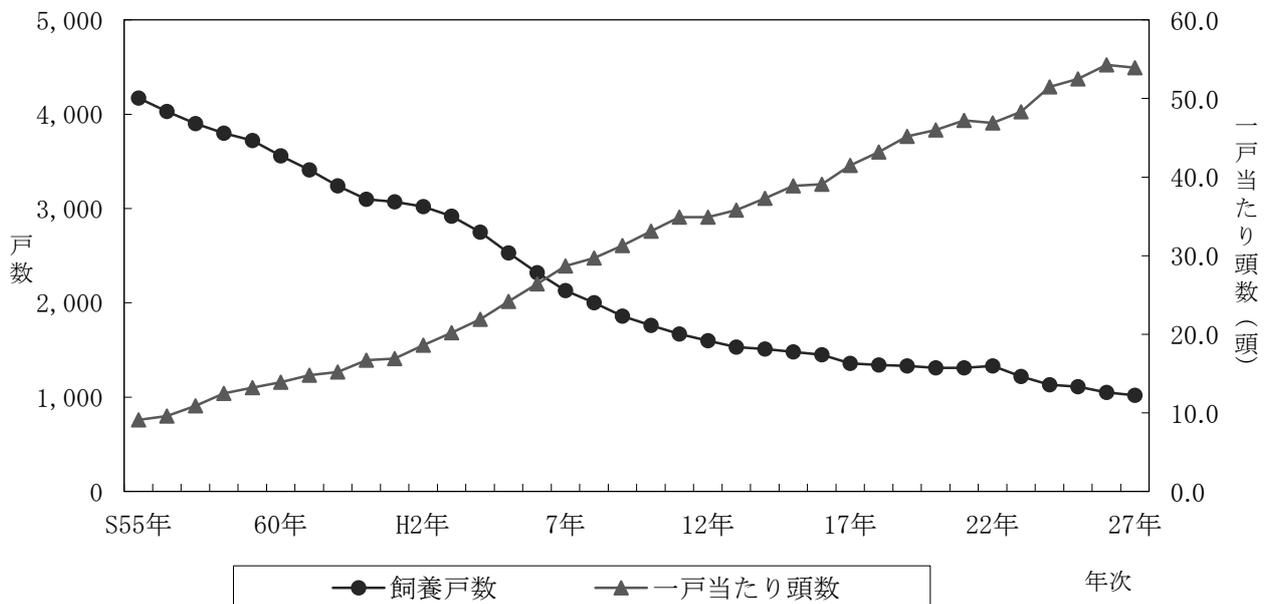
平成27年の飼養戸数は前年より30戸減少し、1,020戸となった。飼養頭数は、平成23年から減少傾向で推移しており、平成27年は前年に比べて3.5%減の55,000頭となっている。

(単位:戸、頭)

区分	飼養戸数	飼養頭数					一戸当たり頭数	
		計	肉用種めす		肉用種おす	乳用種		
			うち繁殖めす					
青森県	S55.2.1	4,170	37,910	4,930		8,740	10,430	9
	60.2.1	3,560	49,400	5,800		9,460	19,500	14
	H 2.2.1	3,020	56,200	17,600		8,520	30,100	19
	7.2.1	2,130	61,200	17,800		13,700	29,600	29
	12.2.1	1,600	55,800	16,700	10,900	9,700	29,400	35
	16.2.1	1,360	56,500	16,200	10,400	9,110	31,200	42
	22.2.1	1,330	62,400	19,500	14,200	9,250	33,600	47
24.2.1	青森	1,130	58,200	17,900	13,100	8,170	32,200	52
	全国	65,200	2,723,000	1,181,000	642,200	650,500	891,700	42
25.2.1	青森	1,110	58,300	17,900	12,900	7,660	32,700	53
	全国	61,300	2,642,000	1,141,000	618,400	628,100	873,400	43
26.2.1	青森	1,050	57,000	17,300	12,500	7,440	32,200	54
	全国	57,500	2,567,000	1,104,000	595,200	611,700	851,400	45
27.2.1	青森	1,020	55,000	17,300	12,000	7,320	30,500	54
	全国	54,400	2,489,000	1,069,000	579,500	591,400	827,700	46

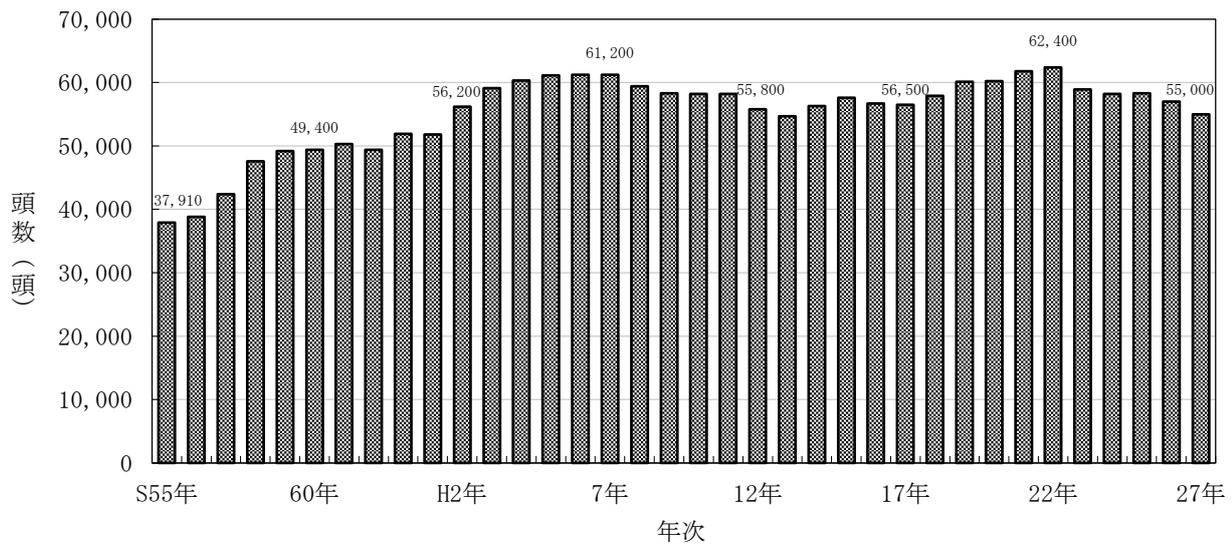
資料：畜産統計

①飼養戸数及び一戸当たりの飼養頭数の推移



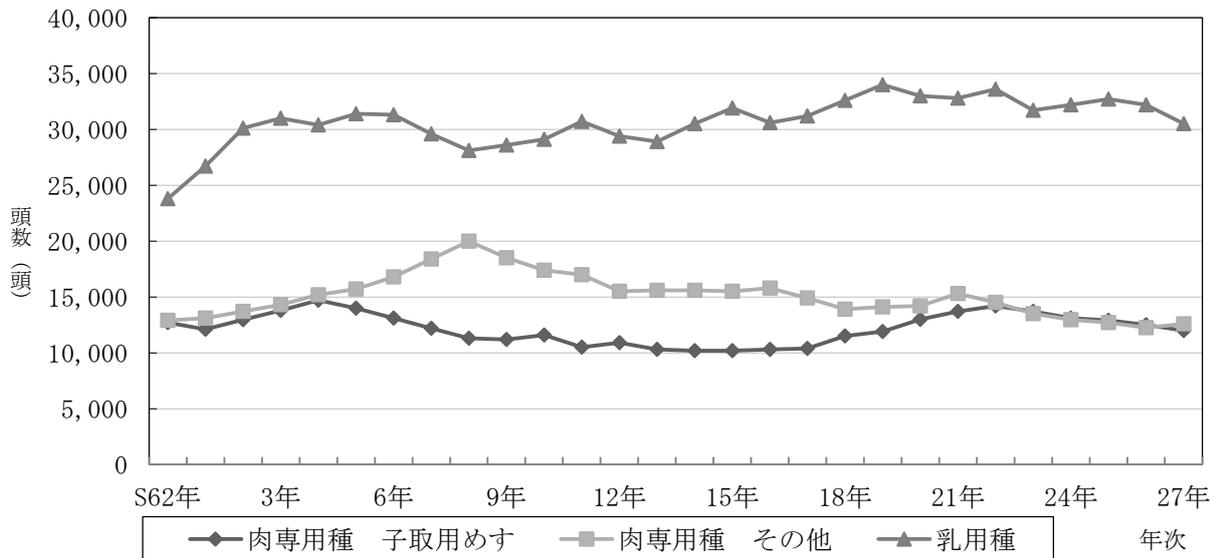
資料：畜産統計

②飼養頭数の推移



資料：畜産統計

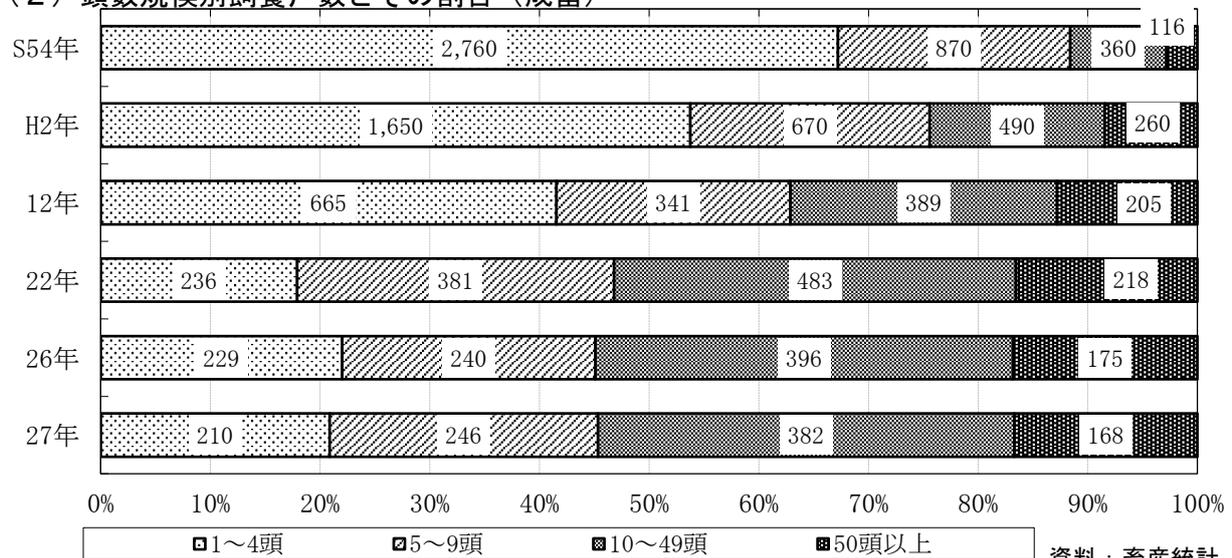
③品種別飼養頭数の推移



(※ 平成2年次、7年次はセンサス年で一部調査を中止しているため、前後年の中間値を用いた)

資料：畜産統計

(2) 頭数規模別飼養戸数とその割合(成畜)



資料：畜産統計

3) 豚

(1) 飼養戸数及び飼養頭数

飼養戸数は、ここ数年減少を続け、平成26年は107戸となる一方、飼養頭数は、横ばいで推移し、平成26年は前年に比べ1.7%減の381,800頭となった。また、一戸当たりの飼養頭数は年々増加傾向で推移し3,568頭となっている。

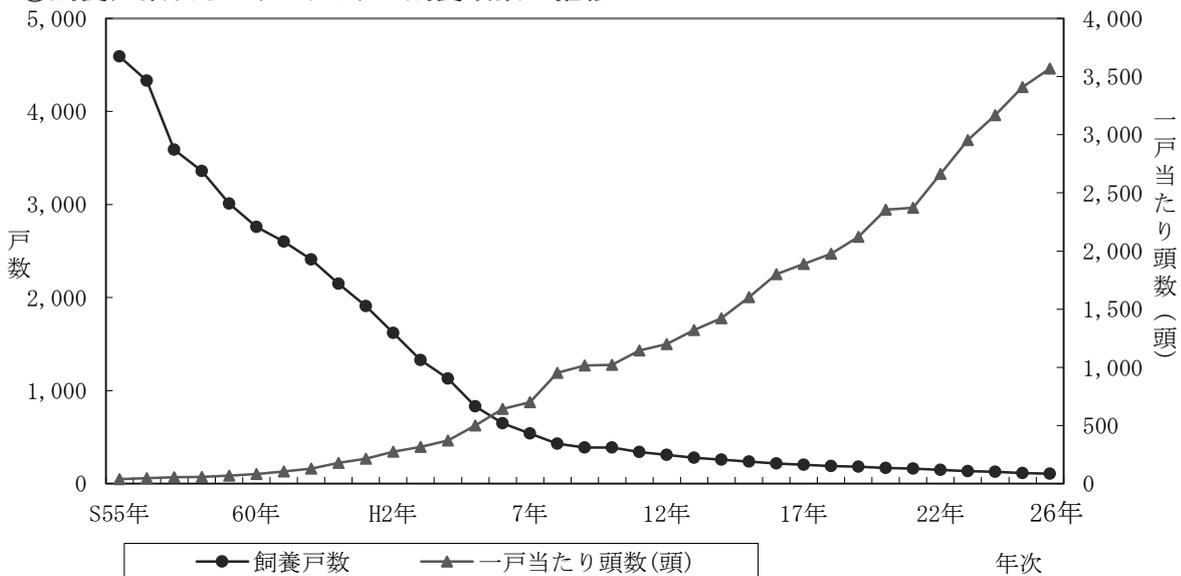
(単位:戸、頭)

区分	飼養戸数		飼養頭数		一戸当たり頭数	
		子取り用めす豚		子取り用めす豚		
青森県	S55.2.1	4,590	3,610	179,610	23,760	39
	60.2.1	2,760	2,540	229,600	29,800	83
	H 2.2.1	1,620	1,240	445,100	43,500	275
	7.2.1	540	480	378,700	39,600	701
	12.2.1	310	290	372,000	36,200	1,200
	16.2.1	216	190	389,300	35,600	1,802
	21.2.1	163	142	386,600	34,000	2,372
23.2.1	青森	134	106	395,800	30,800	2,954
	全国	6,010	5,110	9,768,000	901,800	1,625
24.2.1	青森	127	97	402,400	31,500	3,169
	全国	5,840	4,900	9,735,000	900,000	1,667
25.2.1	青森	114	84	388,500	32,800	3,408
	全国	5,570	4,620	9,685,000	899,700	1,739
26.2.1	青森	107	75	381,800	31,600	3,568
	全国	5,270	4,290	9,537,000	885,300	1,810

※平成17年、22年、27年は農業センサス実施年のため調査は中止している。

資料：畜産統計

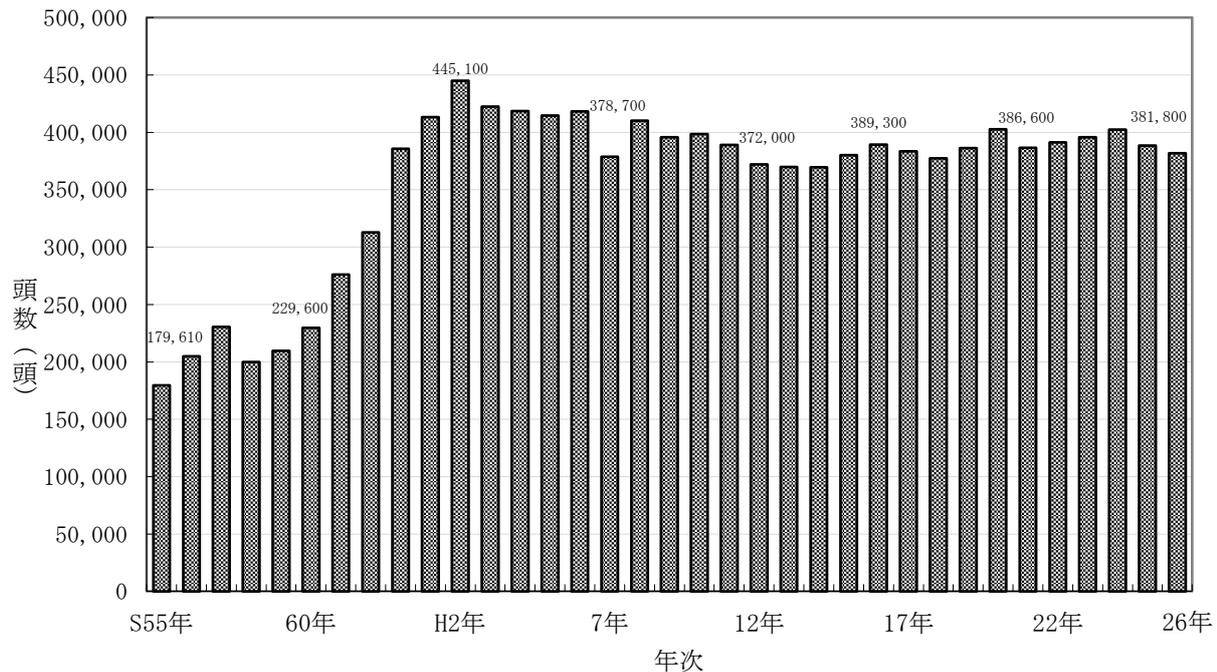
①飼養戸数及び一戸当たりの飼養頭数の推移



(※ 調査を実施していない17年、22年次は前後年の中間値を用いた)

資料：畜産統計

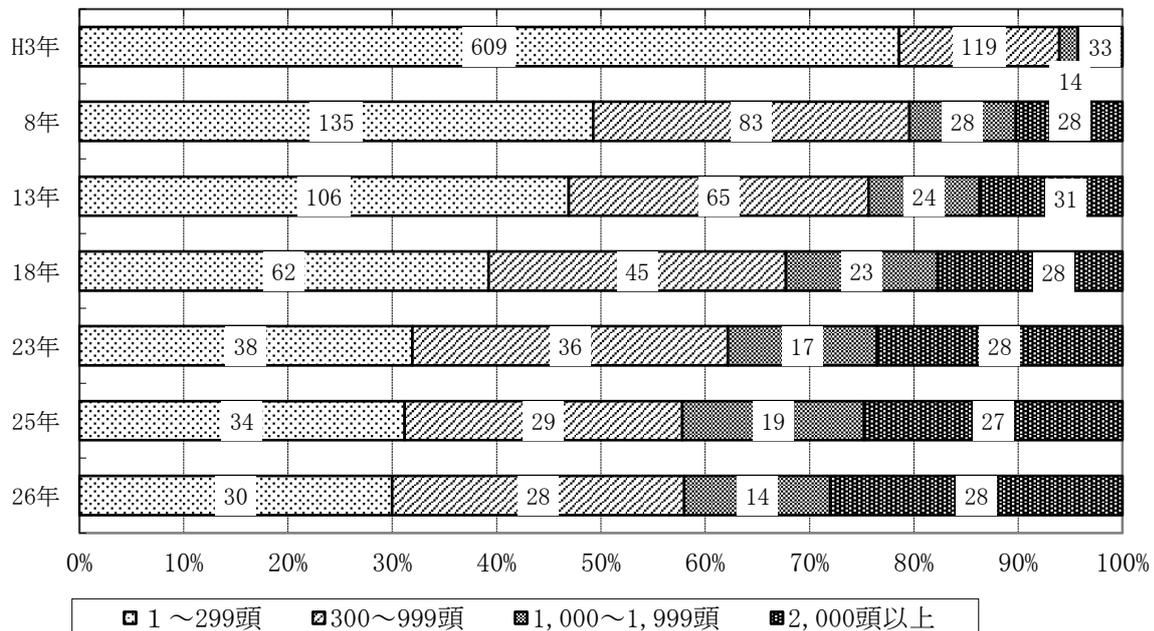
②飼養頭数の推移



(※ 調査を実施していない17年、22年次は前後年次の中間値を用いた)

資料：畜産統計

(2) 頭数規模別飼養戸数とその割合(肥育豚)



資料：畜産統計

4) 採卵鶏

(1) 飼養戸数及び飼養羽数

飼養戸数は、ここ数年横ばいで推移し、平成26年は29戸であった。飼養羽数は、平成26年は前年に比べて1.2%増の6,514千羽となった。また、一戸当たりの飼養羽数は、全国平均の約3.3倍にあたる169千羽で全国一の規模となっている。

(単位:戸、千羽)

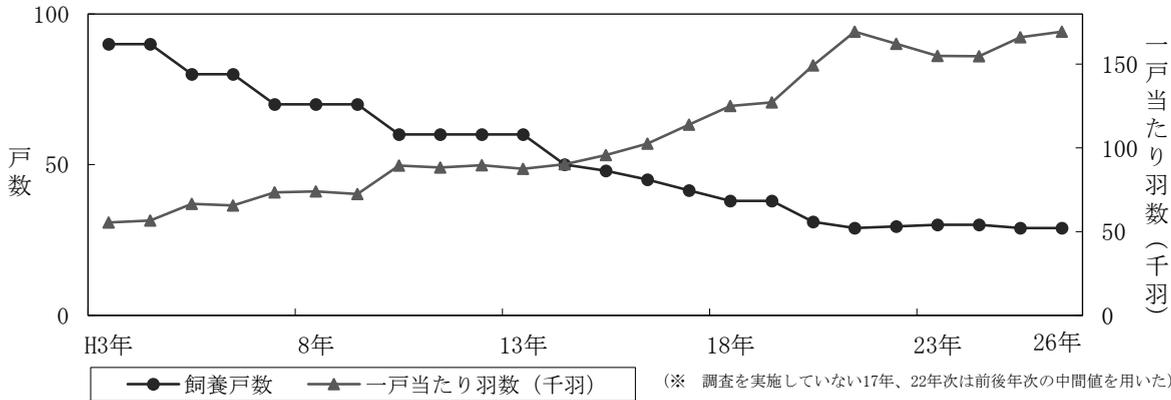
区分	飼養戸数	飼養羽数(採卵鶏)			一戸あたり成鶏めす羽数	
		計	成鶏めす	ひな		
青森県	S55.2.1	770	3,743	3,324	419	4
	60.2.1	890	4,798	3,545	1,253	4
	H2.2.1	590	5,376	4,066	1,310	7
	7.2.1	60	5,641	4,402	1,239	73
	12.2.1	50	5,747	4,479	1,268	90
	16.2.1	45	5,711	4,617	1,094	103
	21.2.1	29	6,267	4,910	1,357	169
23.2.1	青森	30	6,165	4,650	1,515	155
	全国	2,930	175,917	137,352	38,565	47
24.2.1	青森	30	6,301	4,640	1,661	155
	全国	2,890	177,607	135,477	39,472	47
25.2.1	青森	29	6,439	4,818	1,621	166
	全国	2,730	174,784	133,085	39,153	50
26.2.1	青森	29	6,514	4,913	1,601	169
	全国	2,560	172,349	133,506	38,843	52

※平成17年、22年、27年は農業センサス実施年のため調査は中止している。

資料：畜産統計

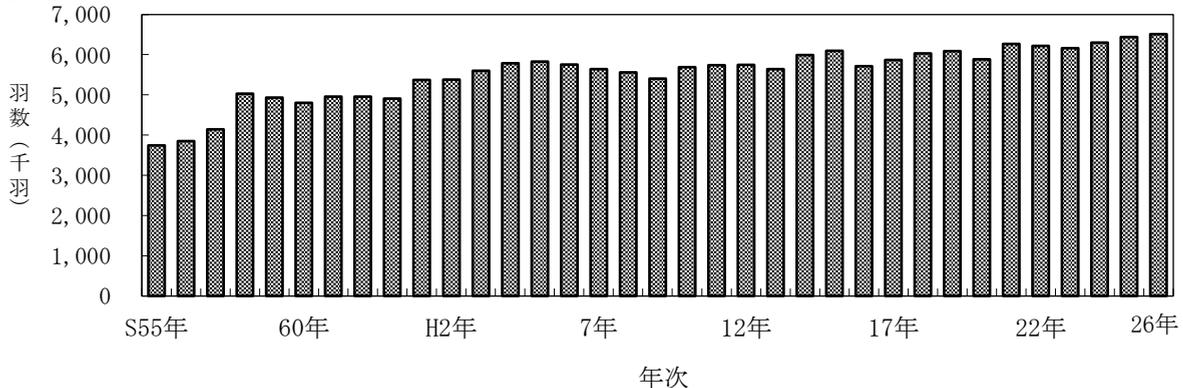
※飼養対象は、平成2年まで成鶏300羽未満を含み、平成3年から成鶏300羽以上、平成10年から成鶏1,000羽以上。

①飼養戸数及び一戸当たりの飼養羽数の推移

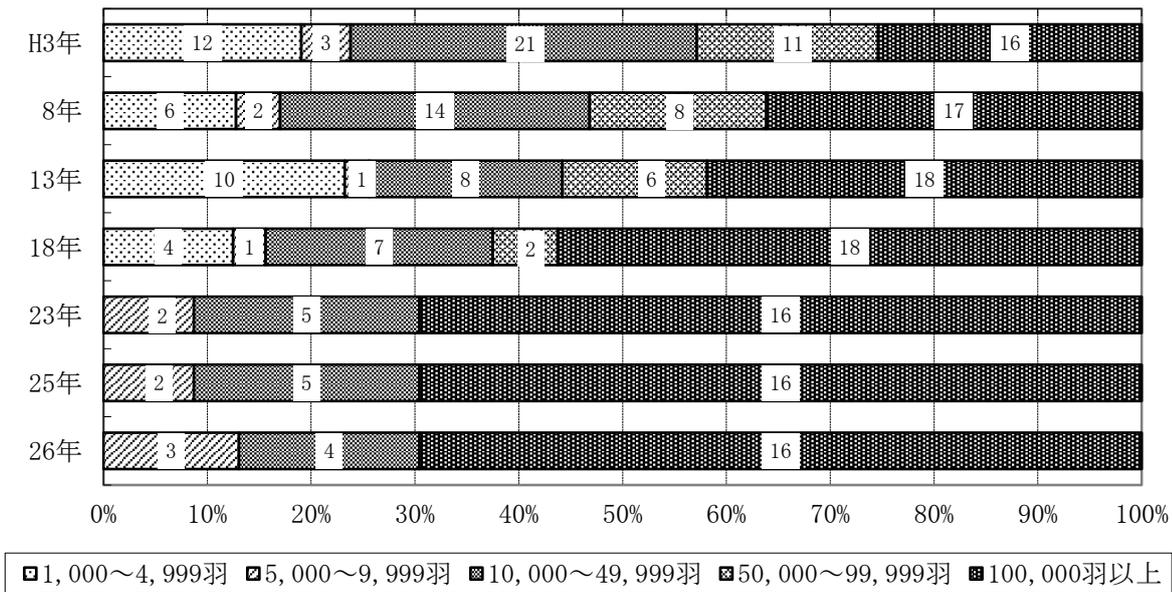


資料：畜産統計

②飼養羽数の推移



(2) 羽数規模別飼養戸数とその割合（成鶏めす）



資料：畜産統計

5) ブロイラー

(1) 飼養戸数及び飼養羽数

平成26年の飼養戸数は66戸、飼養羽数は6,844千羽となった。一戸当たりの飼養羽数は全国平均の1.8倍にあたる103,700羽となっている。

(単位：戸、千羽)

区分	S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	21年	25年	26年	
青森県	飼養戸数	39	43	46	46	48	53	58	66	66
	飼養羽数	1,056	2,119	3,777	4,295	4,517	5,060	6,105	6,910	6,844
	一戸当たり羽数	27.1	49.3	82.1	93.4	94.1	95.5	105.3	104.7	103.7
全国	飼養戸数	—	7,025	5,529	3,853	3,084	2,654	2,392	2,420	2,380
	飼養羽数	—	150,215	150,445	119,682	108,786	102,520	107,141	131,624	135,747
	一戸当たり羽数	—	21.4	27.2	31.1	35.3	38.6	44.8	54.4	57.0

資料：食鳥流通統計、畜産統計

※平成21年までは、食鳥流通統計として調査。

※平成25年からは、畜産統計として調査。年間出荷羽数3,000羽未満の飼養者を除く。

※平成27年は農業センサス実施年のため調査は中止している。

6) その他

(1) 馬

①軽種馬

(単位:戸、頭)

区 分	S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	22年	25年	26年	27年
飼養戸数	272	199	165	146	102	73	53	49	45	46
飼養頭数	2,212	2,155	1,872	1,740	1,006	830	438	350	338	300

資料：県畜産課調査

②軽種馬以外

(単位:戸、頭)

区 分	S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	22年	25年	26年	27年
飼養戸数	359	435	280	320	277	228	136	132	154	118
飼養頭数	683	1,108	881	1,751	1,522	1,580	1,436	1,470	1,459	1,540

資料：県畜産課調査

(2) めん羊 ※平成24年から調査方法が変更となっている

(単位:頭)

区 分	S55年	60年	H2年	6年	12年	17年	22年	25年	26年	27年
飼養頭数	463	1,530	610	430	165	132	65	220	250	150

資料：県畜産課調査（6年以前は畜産統計）

(3) 山羊

(単位:頭)

区 分	S55年	60年	H2年	6年	12年	17年	22年	25年	26年	27年
飼養頭数	391	180	110	80	85	73	89	130	155	140

資料：県畜産課調査（6年以前は畜産統計）

(4) みつばち

(単位:戸、群)

区 分	S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	22年	25年	26年	27年
飼育戸数	169	160	118	96	92	75	76	85	95	103
飼育群数	7,779	7,610	5,553	5,160	5,630	6,065	5,677	5,478	5,595	5,960

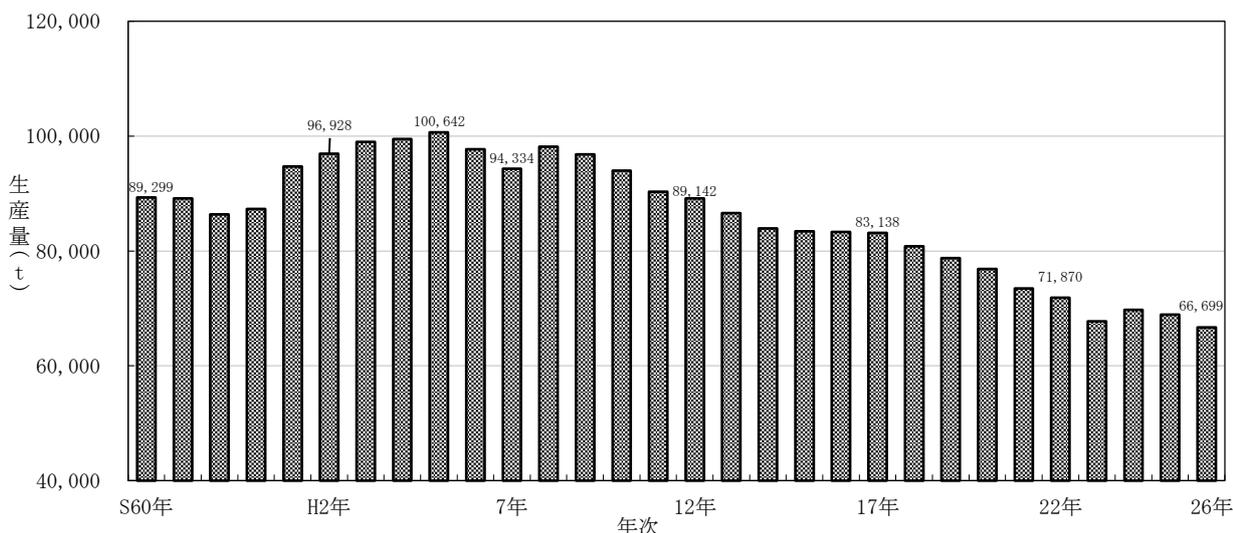
資料：県畜産課調査

第4章 畜産物の流通と価格

1) 牛 乳

(1) 生乳生産量

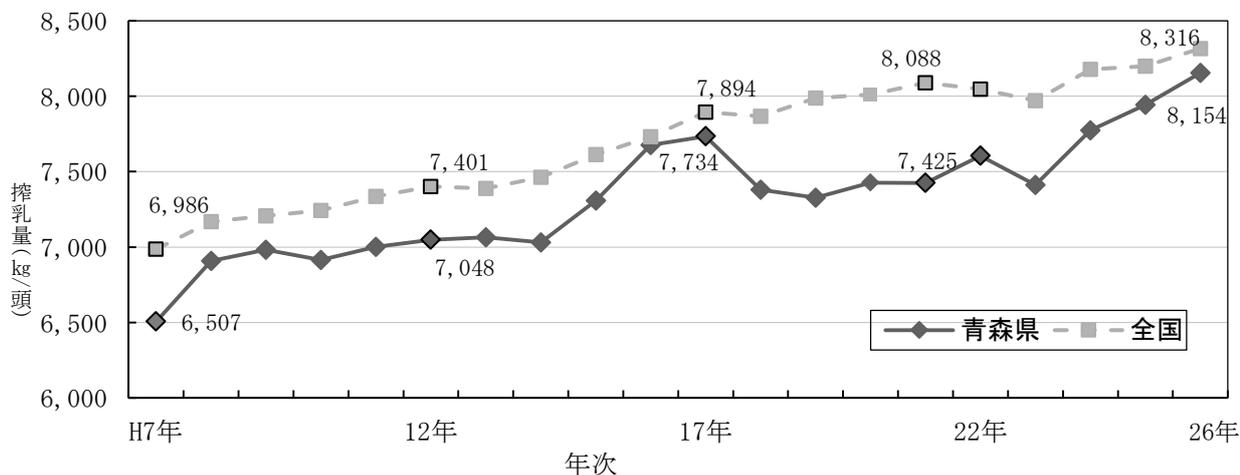
平成26年の生乳生産量は66,699tで、前年に比べて2,206t（3.2%）減少している。



資料：牛乳乳製品統計

(2) 経産牛1頭当たり年間搾乳量

平成26年の経産牛1頭当たりの年間搾乳量は、8,154kg/頭となっている。



資料：「牛乳乳製品統計調査」及び「畜産統計」の結果から算出

(3) 生乳の価格

平成26年度のプール乳価は101.16円/kgとなり、前年に比べて5.38円/kg上昇している。

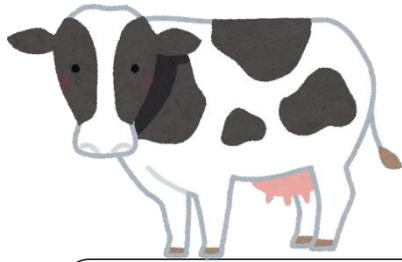
(単位：円/kg)

区分	55年度	60年度	2年度	7年度	12年度	17年度	22年度	24年度	25年度	26年度
プール乳価 (補給金含む)	101.37	101.4	88.27	84.06	81.44	82.97	90.07	94.03	95.78	101.16

※14年度以降は運賃も含む

資料：全農青森県本部調査

(4) 生乳の流通経路 (平成26年次)



生乳生産量
66,699 t

県外処理
58,233 t
(87.3%)



(単位：t、%)

内訳	数量	割合
宮城県	17,692	30.4
茨城県	12,700	21.8
岩手県	10,428	17.9
その他	17,413	29.9

県内処理量
8,466 t
(12.7%)



生乳処理量
8,466 t

飲用牛乳等向け	乳製品向け	その他向け
7,833t (92.5%)	105t (1.3%)	528t (6.2%)

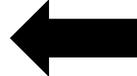
飲用牛乳等 7,369kl			
牛乳	うち学乳	加工乳・成分調整乳	はっ酵乳
7,369kl	3,071kl	0kl	226kl

飲用牛乳等
7,369kl
(38.9%)



飲用牛乳等
県内推定出回り量
18,929kl

飲用牛乳等移入量
11,560 kl
(61.1%)



(単位：kl、%)

内訳	数量	割合
北海道	5,946	51.4
岩手県	3,784	32.7
秋田県	1,570	13.6
その他	260	2.3

資料：牛乳乳製品統計

2) 肉用牛

(1) 子牛の取引頭数

平成26年の子牛の取引頭数は、繁殖めす牛頭数の減少に伴い減少傾向で推移しており、12,115頭となっている。

(単位：頭)

区分		S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	22年	24年	25年	26年
子牛	肉専用種	7,127	8,033	8,535	6,657	7,360	5,856	7,268	7,060	6,733	6,428
	乳用種	935	3,811	3,668	9,507	8,220	8,603	6,965	6,152	5,772	5,687
	計	8,062	11,844	12,203	16,164	15,580	14,459	14,233	13,212	12,505	12,115

資料：全国肉用牛振興基金協会調査

(2) 子牛の価格（県家畜市場）

平成26年の子牛価格は、黒毛和種は542千円（対前年比11%増）、日本短角種は251千円（対前年比10%増）となっている。

(税込み)

(単位：千円)

区分		S55年		60年		H2年		7年	12年	17年	22年	24年	25年	26年
		春	秋	春	秋	春	秋	1～12月						
品種別	黒毛和種	285	305	157	206	355	318	279	355	470	387	431	488	542
	日本短角種	272	277	177	205	273	187	127	107	209	164	90	228	251
子牛平均価格		267	284	161	205	330	260	241	337	462	385	426	486	538

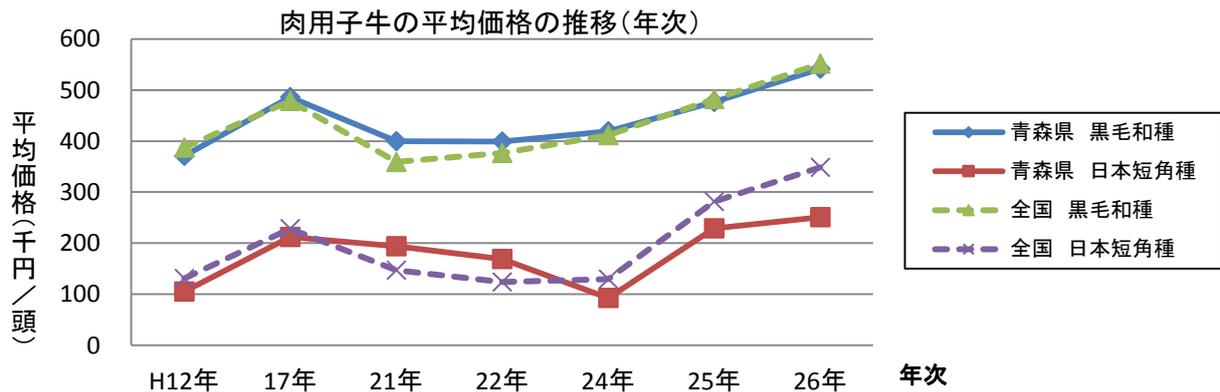
資料：農畜産業振興機構肉用子牛取引情報

(3) 肉用子牛取引状況

(単位：頭、kg、円、円/kg (税込))

区分	青森県				全国				
	取引頭数	平均体重	平均価格	kg当たり単価	取引頭数	平均体重	平均価格	kg当たり単価	
黒毛和種	平成12年	4,713	276	370,760	1,342	355,594	279	387,108	1,385
	平成17年	5,593	285	486,143	1,703	361,864	273	478,716	1,755
	平成21年	6,660	292	399,455	1,368	387,893	278	359,210	1,292
	平成22年	6,516	293	398,952	1,362	352,143	279	376,503	1,349
	平成24年	6,202	292	419,181	1,433	361,940	278	411,943	1,483
	平成25年	5,768	292	476,687	1,630	353,432	277	482,338	1,739
	平成26年	5,399	293	541,693	1,850	337,807	276	551,427	1,995
日本短角種	平成12年	155	270	104,959	389	1,761	236	131,079	556
	平成17年	88	277	212,350	768	1,218	242	228,122	942
	平成21年	62	276	193,691	702	1,177	242	147,024	607
	平成22年	52	275	169,110	615	1,131	239	123,988	519
	平成24年	87	268	92,713	346	1,247	232	129,861	560
	平成25年	41	254	229,104	901	1,210	226	281,370	1,247
	平成26年	74	268	250,906	935	1,057	237	348,593	1,469

資料：農畜産業振興機構肉用子牛取引情報

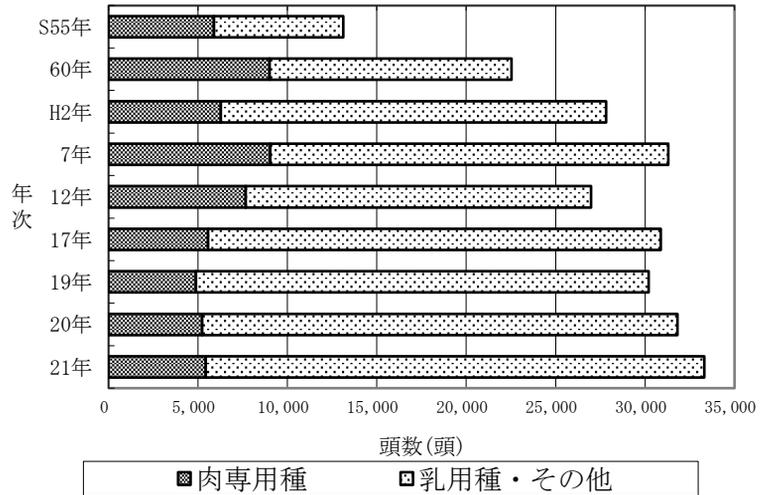


(3) 肉用牛（成牛）の出荷頭数

平成21年の出荷頭数は、33,318頭で種類別内訳は、乳用種及びその他83.7%、肉専用種16.3%となっているが、平成22年以降のデータ（畜産物流通統計）はない。

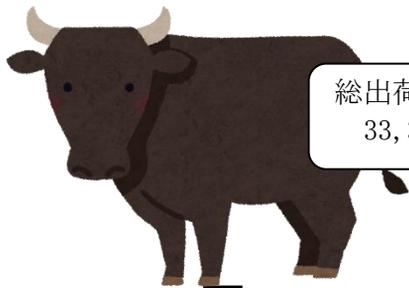
(単位：頭)

	肉専用種	乳用種・その他	合計
S55年	5,898	7,221	13,119
60年	9,003	13,526	22,529
H2年	6,283	21,545	27,828
7年	9,045	22,243	31,288
12年	7,671	19,305	26,976
17年	5,563	25,305	30,868
19年	4,887	25,307	30,194
20年	5,237	26,571	31,808
21年	5,439	27,879	33,318



資料：畜産物流通統計

(4) 肉用牛の流通（平成21年次、平成22年次以降のデータはなし）



総出荷頭数
33,318頭

県外処理
12,102頭
(36.3%)

(単位：頭、%)

内訳	頭数	割合
宮城県	4,075	33.7
東京都	3,062	25.3
岩手県	1,625	13.4
その他	3,340	27.6

県内処理
21,216頭
(63.7%)

(72.5%)

県内と畜頭数
29,250頭

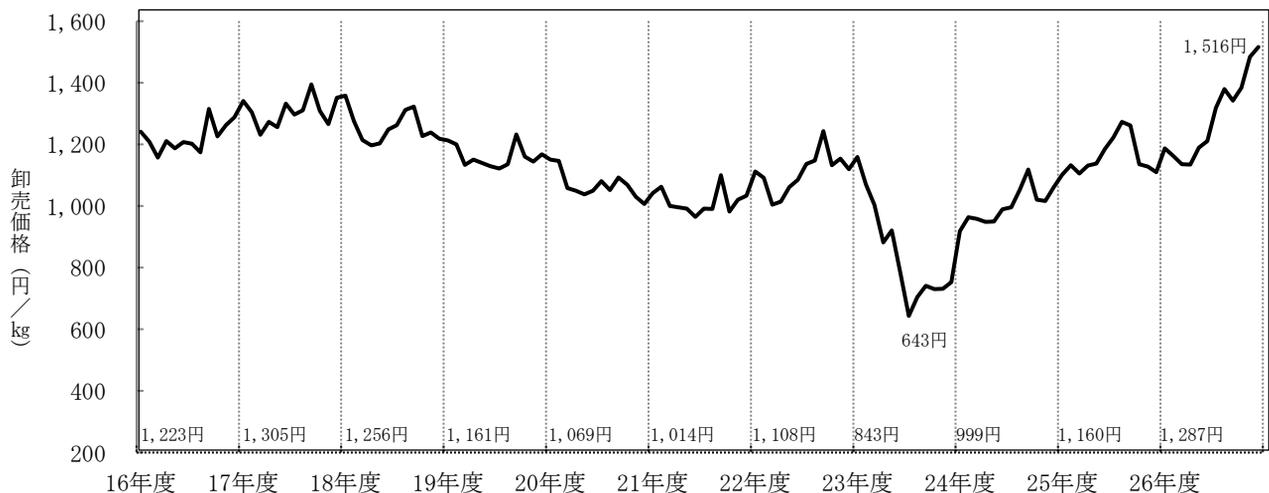
県外からの
生体移入
8,034頭
(24.1%)

(単位：頭、%)

内訳	頭数	割合
岩手県	3,289	40.9
宮城県	2,007	25.0
福島県	1,555	19.4
その他	1,183	14.7

資料：畜産物流通統計

(5) 牛枝肉の卸売価格の推移（東京市場、省令価格）



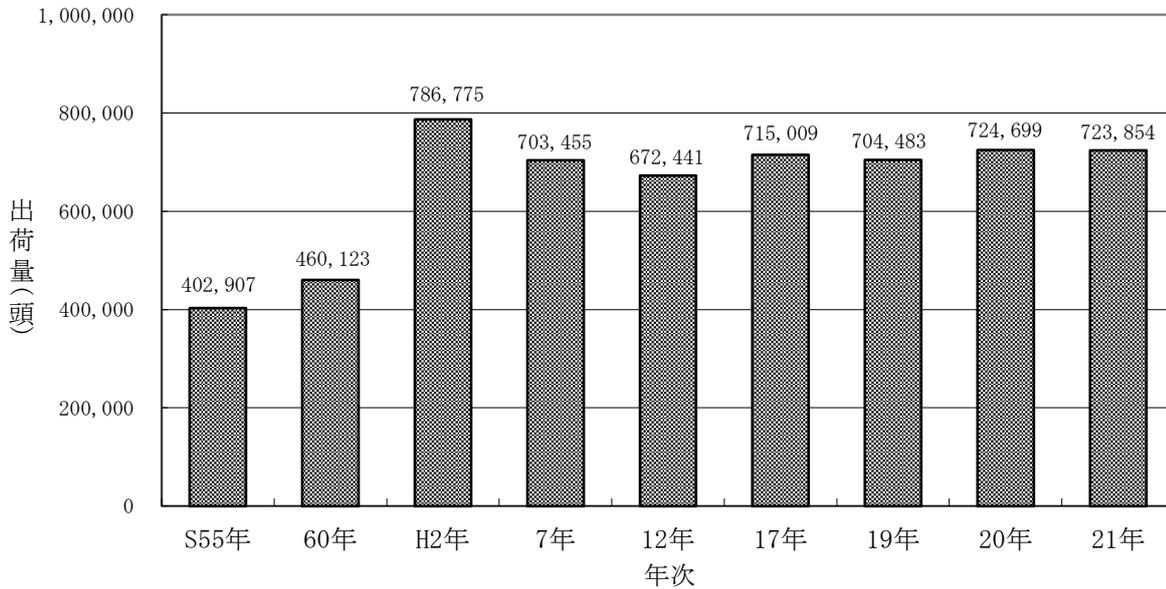
※省令規格とは、去勢牛の「B-2」「B-3」を合わせたもの。

資料：農林水産省食肉流通統計、食肉市況情報

3) 豚

(1) 肉豚の出荷頭数

平成21年の肉豚の出荷頭数は、723,854頭となっているが、平成22年以降のデータ(畜産物流通統計)はない。



資料：畜産物流通統計

(2) 肉豚の流通(平成21年次、平成22年次以降のデータはなし)



(単位:頭、%)

内訳	頭数	割合
茨城県	19,470	47.2
宮城県	8,326	20.2
栃木県	5,240	12.7
その他	8,224	19.9

県外処理
41,260頭
(5.7%)

県内処理
682,594頭
(94.3%)

(71.6%)

県内と畜頭数
953,822頭

県外からの
生体移入
271,228頭
(28.4%)

(単位:頭、%)

内訳	頭数	割合
岩手県	227,054	83.7
秋田県	40,469	14.9
北海道	1,976	0.7
その他	1,729	0.6

資料：畜産物流通統計

(3) 子豚の価格

(単位：円／頭)

区分	S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	22年	24年	25年	26年
価格	25,957	25,606	22,186	18,846	14,606	19,075	15,974	15,462	17,705	23,390

(注) 17年までは三本木産地家畜市場、18年以降はおいらせ農協産地家畜市場における平均価格

資料：県畜産課調査

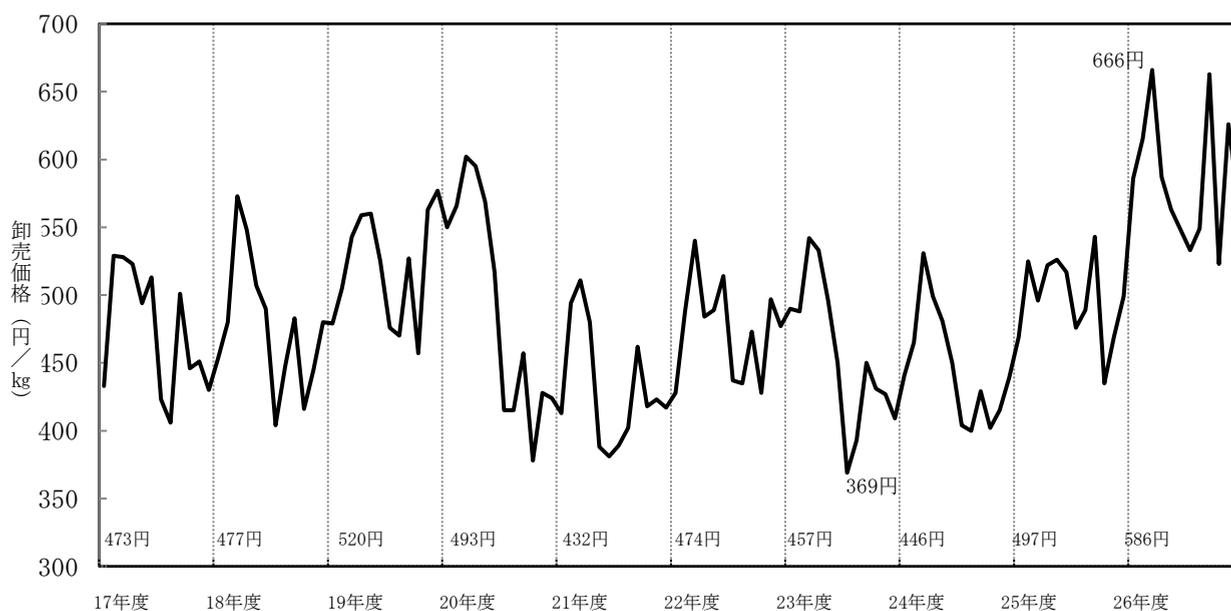
(4) 豚枝肉の卸売価格（東京市場省令規格）

(単位：円／kg)

区分	S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	22年	24年	25年	26年
価格	628	601	486	458	436	480	462	447	488	565

資料：畜産物流通統計

<参考> 豚枝肉の卸売価格の推移（東京市場、省令規格）



※省令規格とは、極上・上・中・並・等外の規格のうち、「上」規格以上のものを指す。

資料：農林水産省食肉流通統計、食肉市況情報

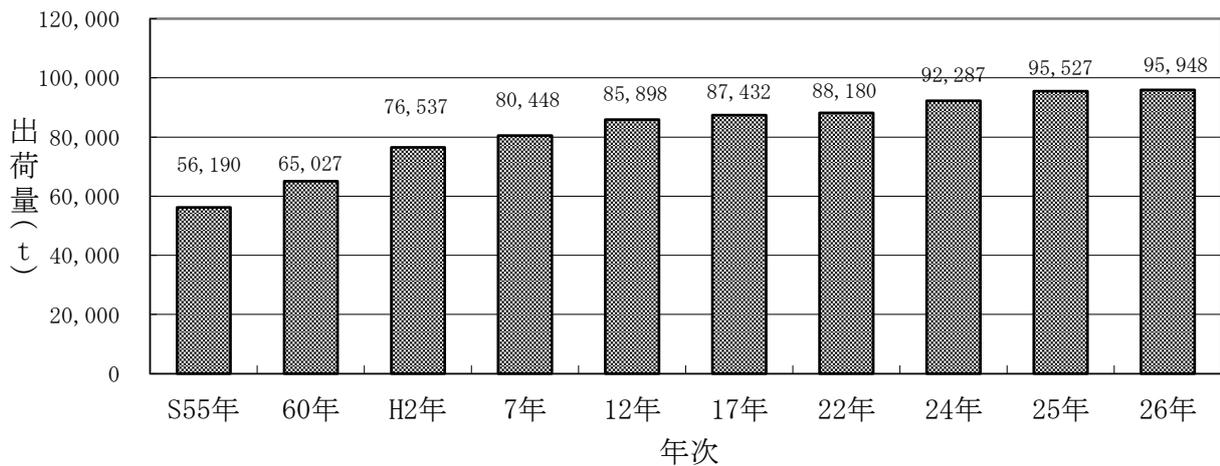
4) 鶏 卵

(1) 鶏卵の生産量及び出荷量

平成26年の鶏卵の生産量は95,948t（対前年比0.4%増）、出荷量は93,740t（対前年比0.5%増）とわずかに増加している。

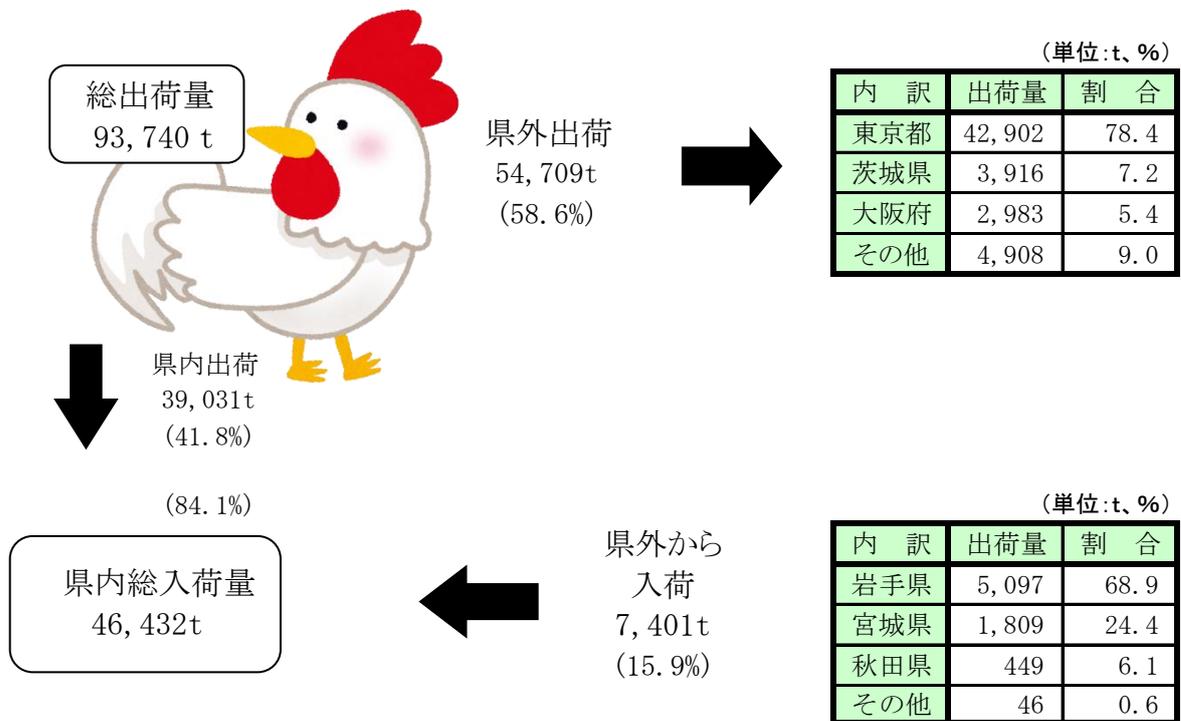
（単位：t）

区分	S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	22年	24年	25年	26年
生産量	56,190	65,027	76,537	80,448	85,898	87,432	88,180	92,287	95,527	95,948
出荷量	55,108	63,602	74,881	77,808	83,858	85,597	86,538	90,165	93,311	93,740



資料：畜産物流通統計

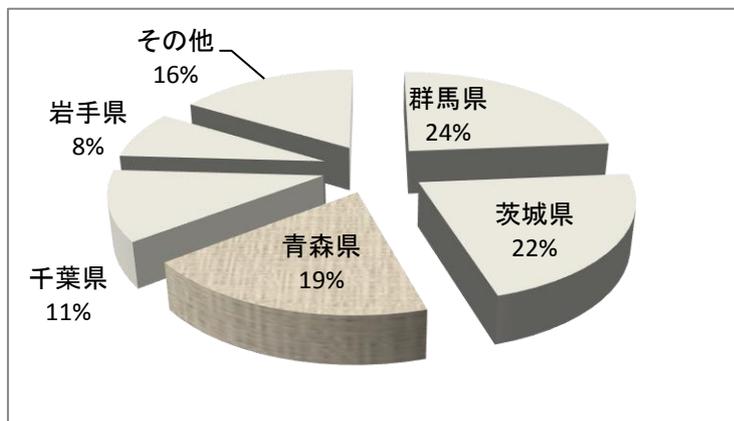
(2) 鶏卵の流通（平成26年次）



資料：畜産物流通統計

(3) 東京市場入荷量に占める県産鶏卵の割合（平成26年次）

本県産鶏卵の東京市場への入荷量は、全国第3位の42,902tで、全入荷量の19%を占めている。



(単位：t、%)

内訳	入荷量	割合
群馬県	53,159	24%
茨城県	48,914	22%
青森県	42,902	19%
千葉県	25,598	11%
岩手県	17,568	8%
その他	36,534	16%
合計	224,675	100%

資料：畜産物流通統計

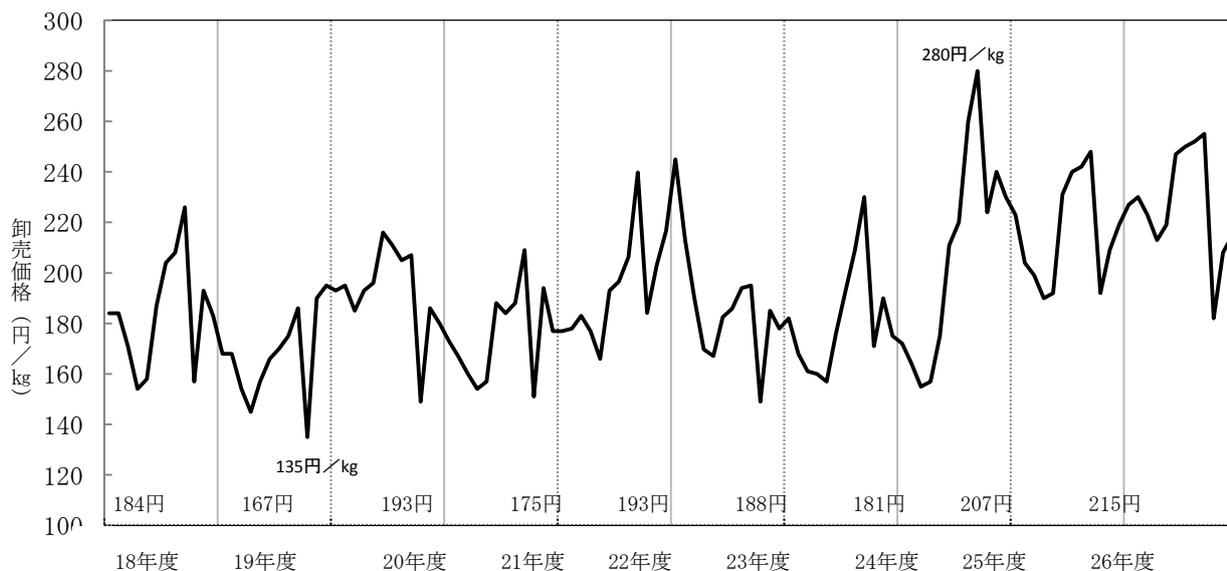
(4) 鶏卵の卸売価格（東京市場、規格「M」）

(単位：円/kg)

区分	S55年度	60年度	H2年度	7年度	12年度	17年度	21年度	22年度	24年度	25年度	26年度
卸売価格	300	279	241	197	185	167	175	193	181	207	215

資料：全農畜産販売部情報
(昭和60年までは畜産物流通統計)

<参考> 鶏卵卸売価格の推移（東京市場、規格「M」）

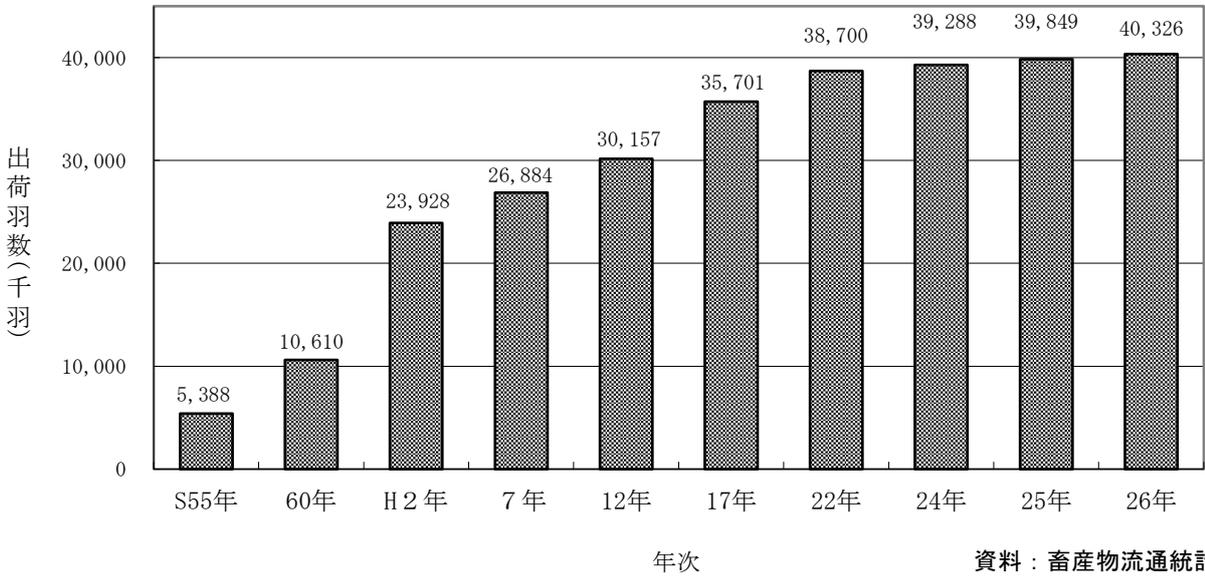


資料：全農畜産販売部情報

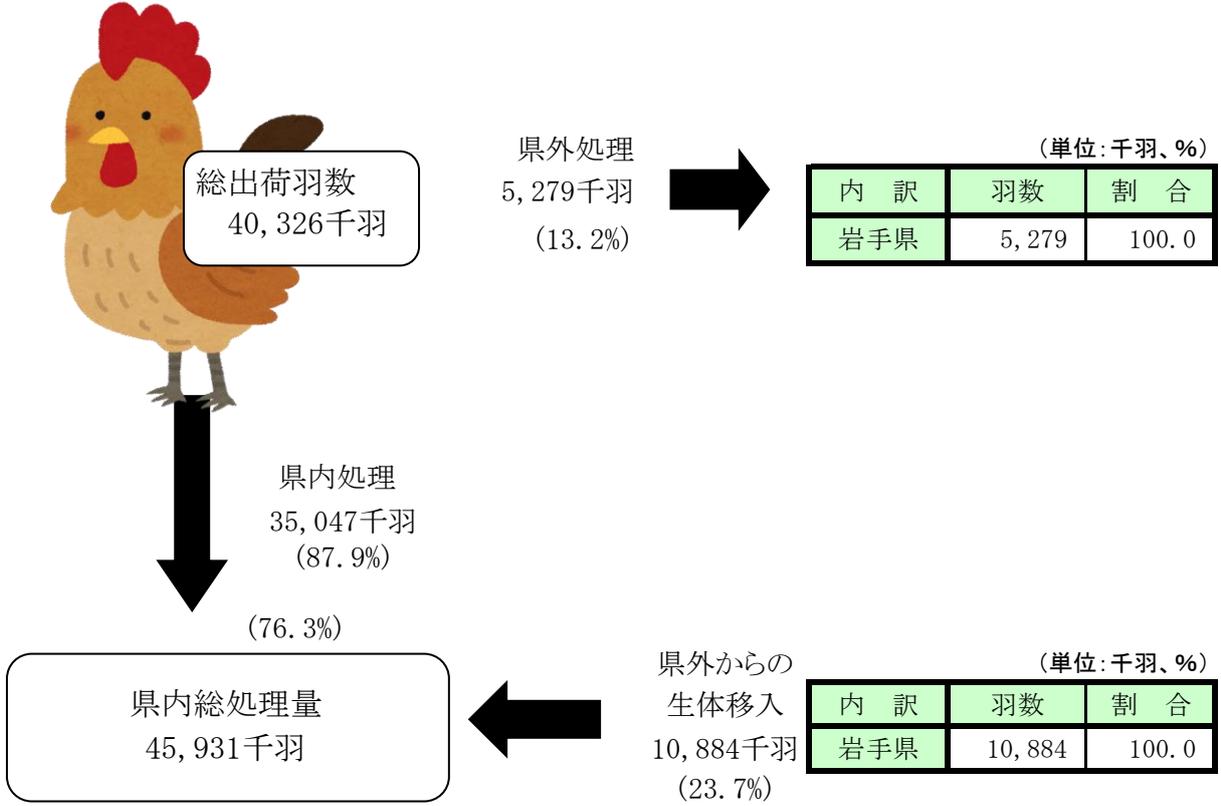
5) ブロイラー

(1) ブロイラー出荷羽数

平成26年の出荷羽数は、前年に比べて1.2%増の40,326千羽となり、わずかに増加している。



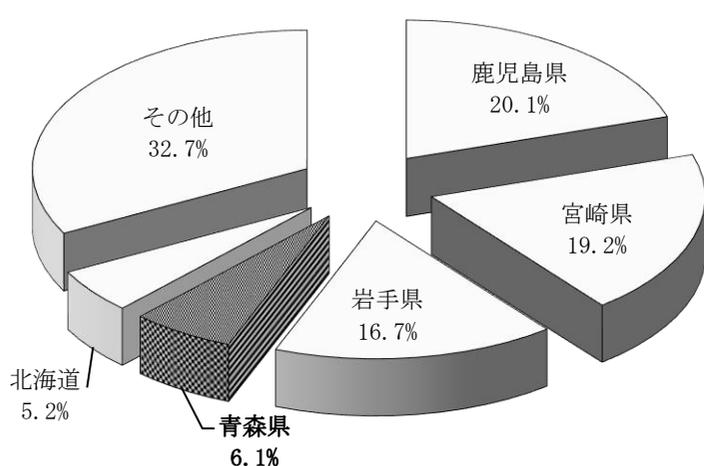
(2) ブロイラーの流通 (平成26年次)



資料：畜産物流通統計

(3) ブロイラーの都道府県別出荷羽数の構成割合（平成26年次）

本県産ブロイラーの出荷羽数は、全国4位の40,326千羽で全体の6.1%を占めている。

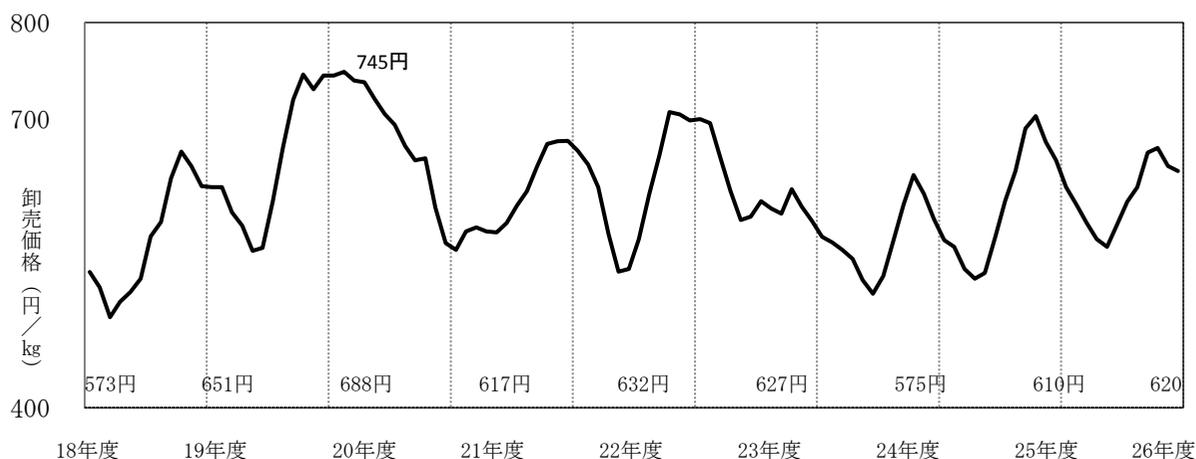


(単位：千羽)

内訳	出荷羽数	割合
鹿児島県	132,818	20.1%
宮崎県	127,109	19.2%
岩手県	109,903	16.6%
青森県	40,326	6.1%
北海道	34,635	5.2%
その他	216,239	32.7%
合計	661,030	100.0%

資料：畜産物流通統計

(4) 鶏肉の卸売価格の推移（東京市場、もも肉）



資料：食鳥市況情報、ブロイラー卸売価格

6) 畜産物支出金額、購入数量

1人当たり支出金額、購入数量（平成26年次）

(単位：円、g、本)

区分		消費支出	食料費						
			牛乳※	卵	牛肉	豚肉	鶏肉	生鮮魚介	
青森市	支出金額	902,322	254,955	4,301	2,310	3,799	8,943	3,809	15,699
	世帯人数 3.24人 購入数量	—	—	113	10,294	1,687	7,446	4,577	15,262
全国	支出金額	1,153,242	301,406	5,008	2,971	6,970	9,117	4,795	15,100
	世帯人数 3.03人 購入数量	—	—	130	9,899	2,166	6,369	5,113	9,441

※牛乳の購入数量は200ml 1本換算

資料：家計調査年報

第5章 畜産物の生産費と収益性

1) 生 乳

(1) 生乳生産費

平成26年の生乳100kg（乳脂肪分3.5%換算乳量）当たりの費用合計は、前年に比べて3%減の9,523円となり、費用に占める割合は流通飼料費（39.4%）と労働費（23.8%）が高くなっている。

（単位：円/100kg）

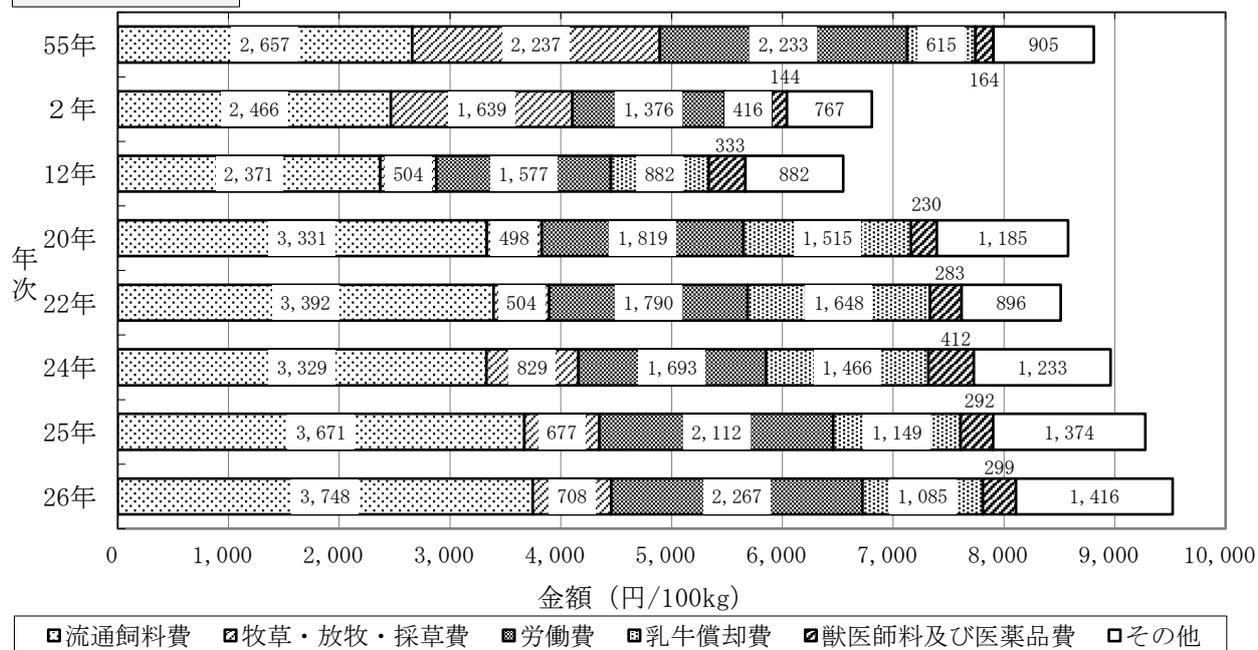
区分	S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	21年	22年	24年	25年	26年	
生産費	全算入生産費	8,101	7,631	5,677	6,421	6,747	7,290	8,641	8,490	9,046	9,012	9,224
	費用合計	8,811	8,044	6,808	6,697	6,549	7,313	8,578	8,513	8,962	9,275	9,523

※平成12年から調査期間変更

資料：畜産物生産費統計

※平成25年から青森県データが非公表のため東北データを用いた

費用合計の内訳



全算入生産費とは

生産費 = 費用合計 - 副産物価格

全算入生産費 = 生産費 + 支払利子 + 支払地代 + 自己資本利子 + 自作地代

(2) 生乳生産における収益性

平成26年の搾乳牛1頭当たり（通年換算）の所得は、前年に比べて28%増の212,300円となっている。

（単位：円）

区分	S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	21年	22年	24年	25年	26年	
収益性	所得 (搾乳牛1頭)	196,813	198,860	291,629	259,396	204,675	145,955	129,035	164,052	109,926	165,728	212,300
	家族労働報酬 (1日)	6,506	8,864	17,379	14,893	13,473	10,656	7,565	10,180	6,839	139,362	184,060

※平成10年から労働費の算出方法が変更されている

資料：畜産物生産費統計

※平成25年から青森県データが非公表のため東北データを用いた

2) 肉用牛

(1) 子牛生産費

平成26年の子牛1頭当たりの費用合計は、前年比べて0.9%増の552,103円となり、費用に占める割合は、労働費（30.8%）と流通飼料費（27.2%）が高くなっている。

（単位：円/頭）

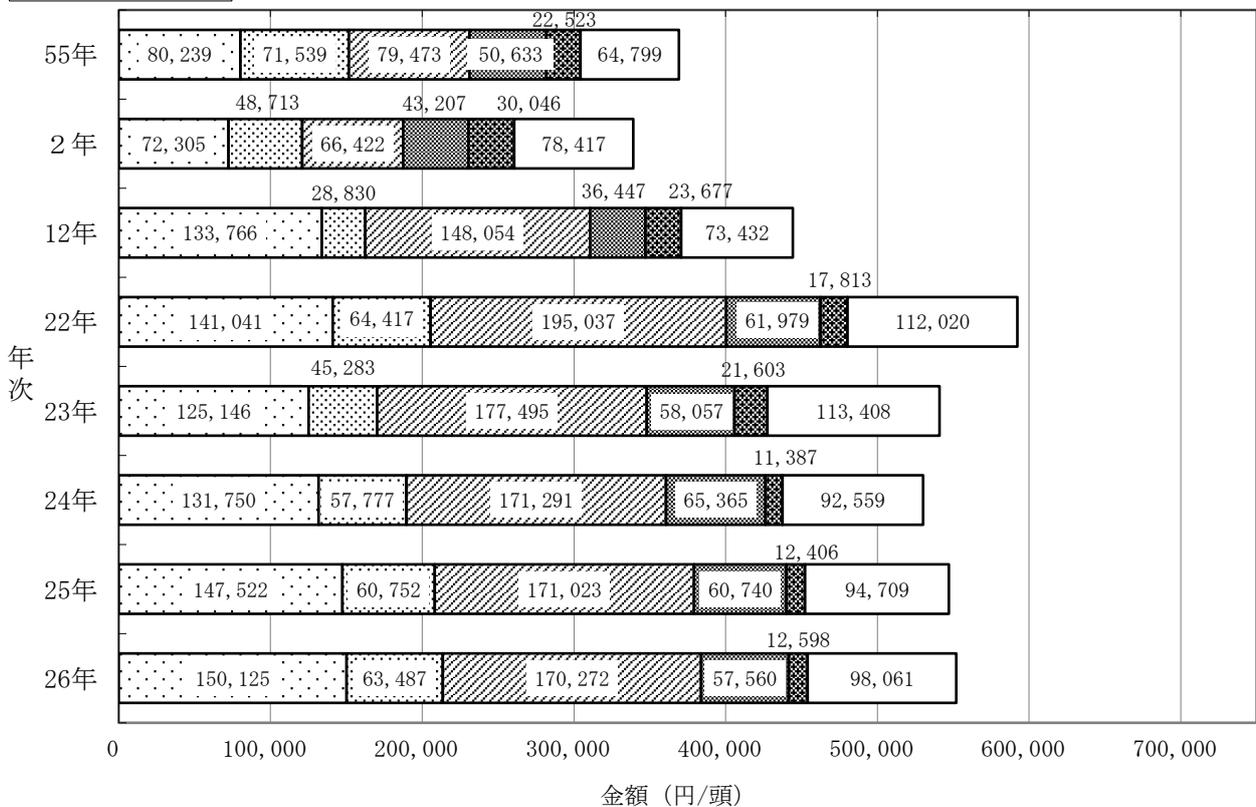
区分	S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	22年	23年	24年	25年	26年	
生産費	全算入生産費	410,203	397,362	381,656	350,671	468,405	666,565	721,846	668,502	572,276	592,996	595,679
費用	費用合計	369,206	367,095	339,110	328,614	444,206	551,043	586,878	540,992	530,129	547,152	552,103

※平成12年から調査期間変更。

資料：畜産物生産費統計

※平成24年から青森県データが非公表のため、全国データを用いた。

費用合計の内訳



□流通飼料費 □牧草・放牧・採草費 □労働費 □繁殖めす牛償却費 □賃借料及び料金 □その他

(2) 子牛生産における収益性

平成26年の繁殖めす牛1頭当たりの所得は134,279円となっている。

（単位：円）

区分	S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	21年	22年	24年	25年	26年	
収益性	所得 (子牛1頭)	42,251	△ 78,645	218,787	8,545	54,141	132,956	△29,055	△10,089	60,614	122,244	134,279
	家族労働報酬 (1日)	△ 21,114	△ 15,064	15,894	△ 3,586	△ 637	1,526	-	-	△1,350	58,302	51,225

※平成10年から労働費の算出方法が変更されている。

資料：畜産物生産費統計

※平成24年から青森県データが非公表のため、全国データを用いた。

(3) 肥育牛（去勢若齢）生産費

平成26年の肥育牛1頭当たりの費用合計は、前年に比べて7.4%増の1,081,825円となり、費用に占める割合は、もと畜費（49.2%）と流通飼料費（31.9%）が高くなっている。

(単位：円/頭)

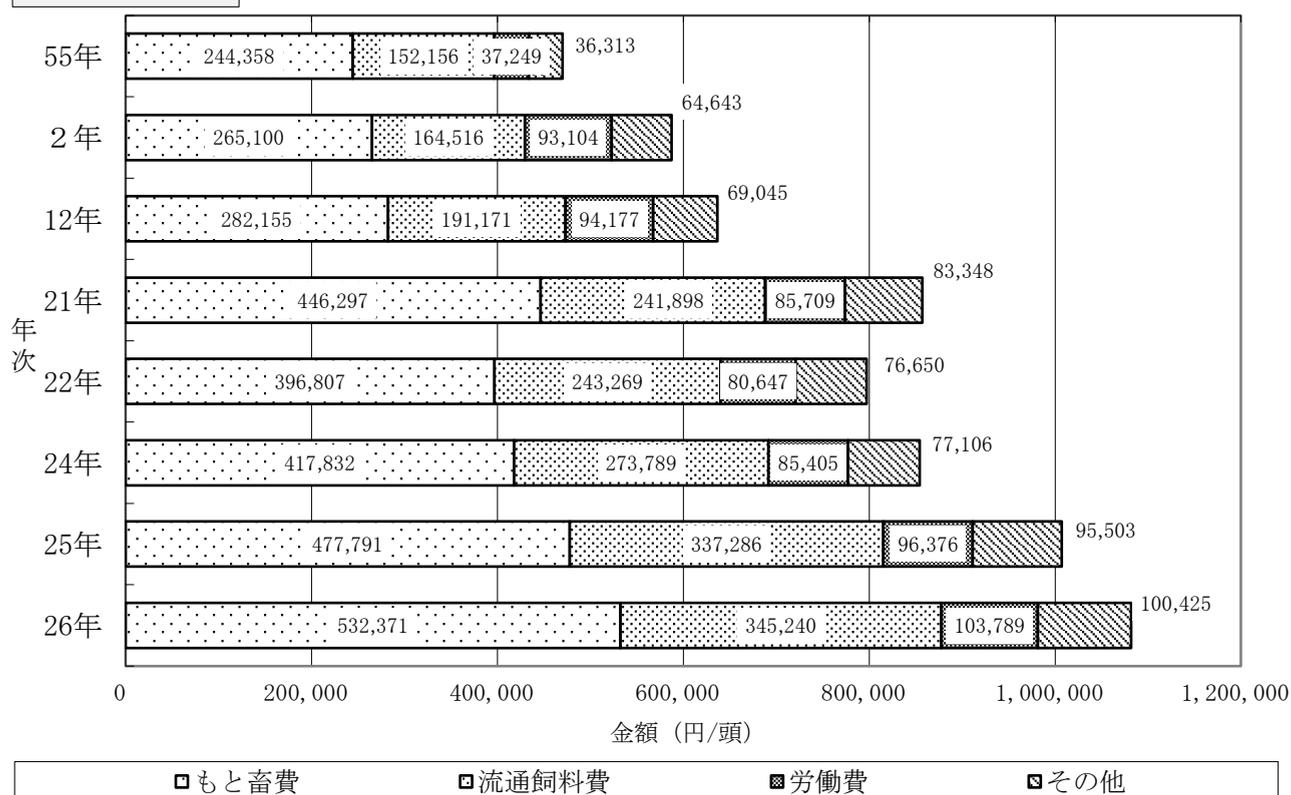
区分	S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	21年	22年	24年	25年	26年	
生産費	全算入生産費	476,799	406,732	565,619	458,050	623,381	819,921	891,163	825,090	871,623	1,021,726	1,096,054
	費用合計	470,076	416,459	587,363	455,719	636,548	815,171	857,252	797,373	854,132	1,006,956	1,081,825

※平成10年から労働費の算出方法変更。12年から調査期間変更。

資料：畜産物生産費統計

※平成25年から青森県データが非公表のため東北データを用いた

費用合計の内訳



(4) 肥育牛（去勢若齢）生産の収益性

平成26年の肥育牛1頭当たりの所得は33,630円となっている。

(単位：円)

区分	S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	21年	22年	24年	25年	26年	
収益性	所得(1頭)	66,515	83,536	101,135	95,105	8,857	192,233	△97,995	8,866	△41,410	9,672	33,630
	家族労働報酬(1日)	7,089	12,542	7,016	13,760	2,594	25,544	—	—	—	△11,665	13,611

※平成25年から青森県データが非公表のため東北データを用いた

資料：畜産物生産費統計

3) 豚

(1) 肥育豚生産費

平成26年の肥育豚1頭当たりの費用合計は、前年に比べて2.3%増の34,774円となり、費用に占める割合は、流通飼料費(68.4%)と労働費(12.2%)が高くなっている。

(単位：円/頭)

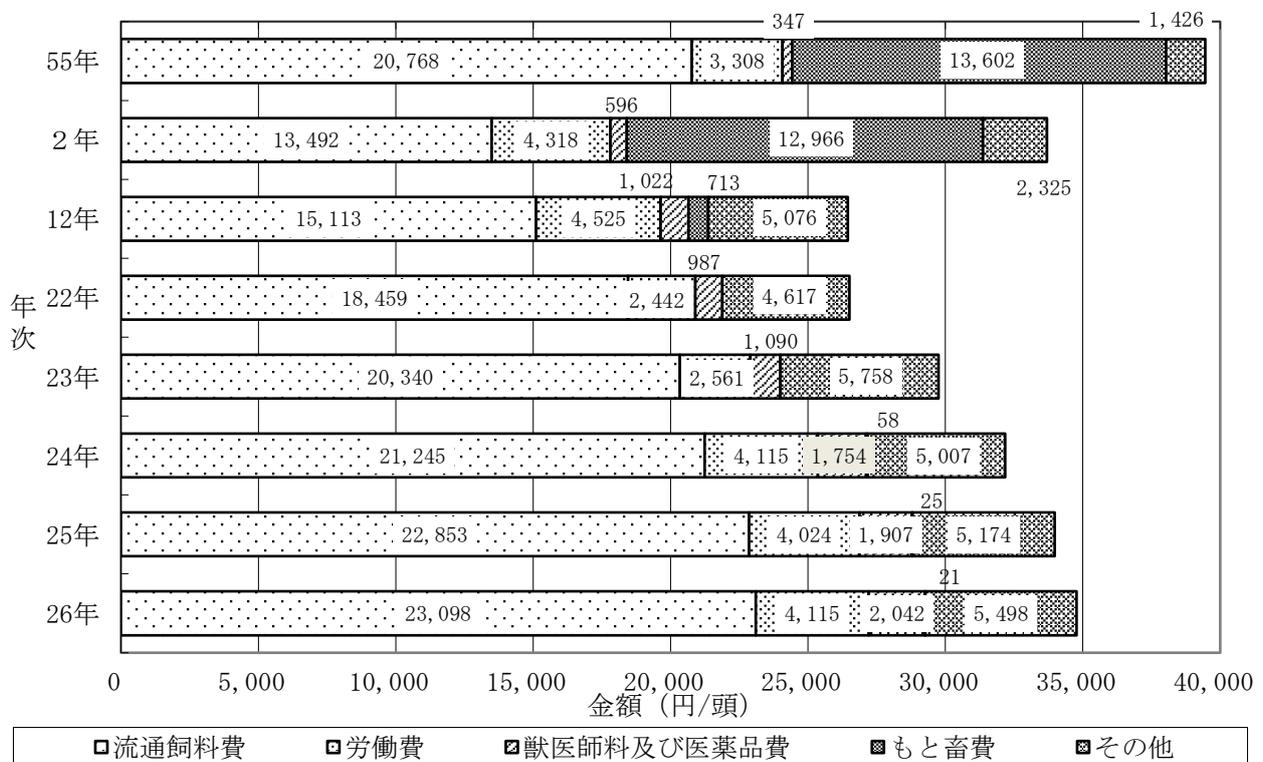
区分	S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	22年	23年	24年	25年	26年
全算入生産費	39,526	46,560	32,612	25,050	27,324	24,751	26,837	29,814	32,242	33,971	34,728
費用合計	39,451	47,355	33,697	24,923	26,449	24,360	26,505	29,749	32,179	33,983	34,774

※平成5年から調査対象農家を肥育経営農家から一貫経営農家へ変更している。

資料：畜産物生産費統計

※平成24年から青森県データが非公表のため、全国データを用いた。

費用合計の内訳



(2) 肥育豚生産の収益性

平成26年の肥育豚1頭当たりの所得は、9,024円となっている。

(単位：円)

区分	S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	21年	22年	24年	25年	26年
所得(1頭)	△ 496	1,705	△ 317	7,000	5,314	7,945	995	5,935	1,003	3,159	9,024
家族労働報酬(1日)	—	1,882	△ 1,606	17,600	9,442	26,016	2,450	28,281	308	2,483	8,332

※平成24年から青森県データが非公表のため、全国データを用いた。

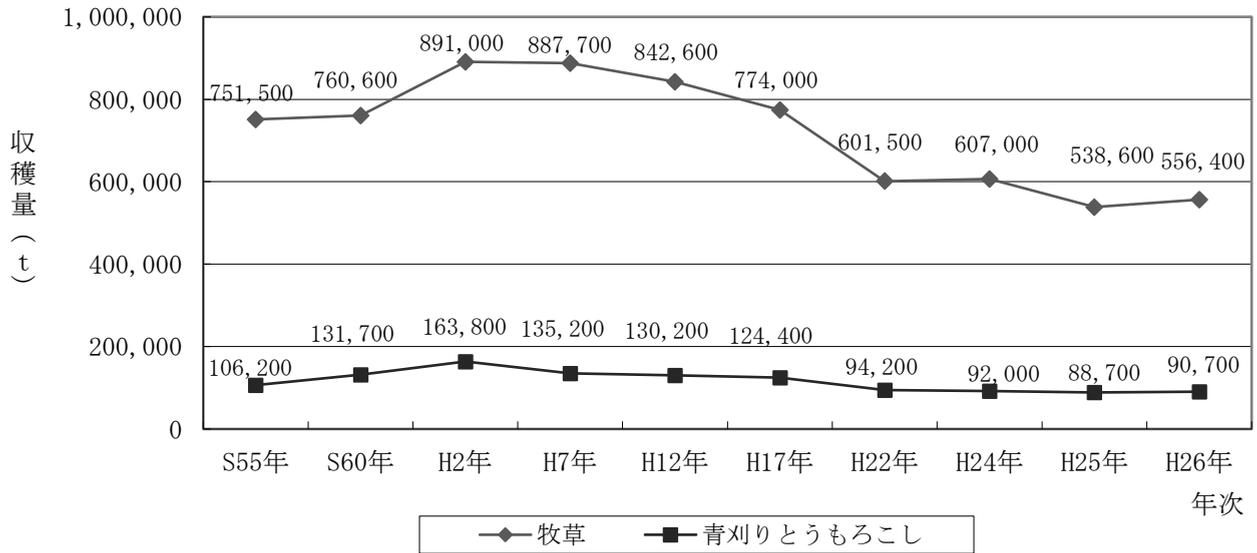
資料：畜産物生産費統計

第6章 草地と飼料

1) 自給飼料の生産

(1) 飼料作物の収穫量

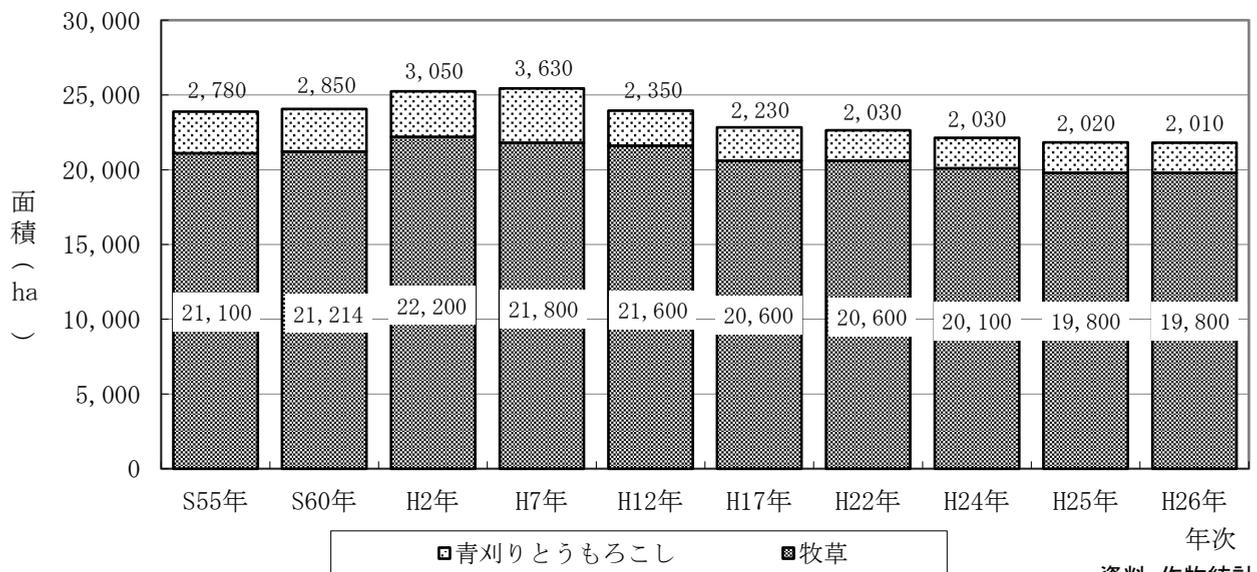
平成26年の飼料作物の収穫量は、牧草が556,400 t（対前年比3.2%増）、青刈りとうもろこしが90,700 t（対前年比2.2%増）となっている。



資料：作物統計

(2) 飼料作物の作付面積

平成26年の作付面積は、牧草が19,800ha（対前年比増減なし）、青刈りとうもろこしが2,010ha（対前年比0.5%減）となっている。



資料：作物統計

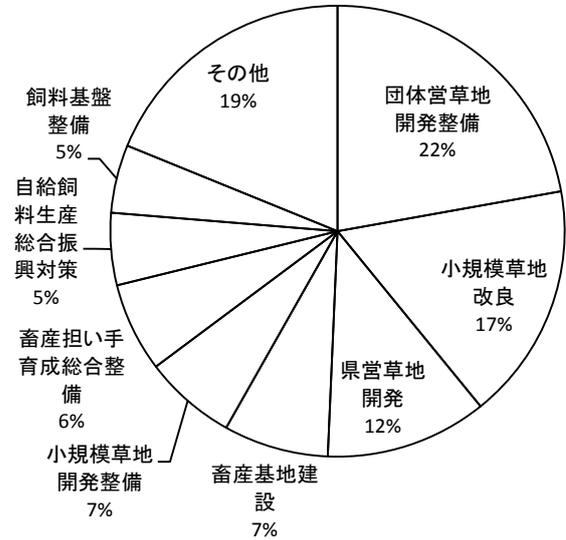
2) 草地面積

(1) 事業別草地の造成・整備面積（昭和36年～平成27年）

(単位：ha)

事業名	造成・整備面積
団体営草地開発整備事業	4,187.28
小規模草地改良事業	3,210.90
県営草地開発事業	2,177.35
畜産基地建設事業	1,410.20
小規模草地開発整備事業	1,245.61
畜産担い手育成総合整備事業	1,208.41
自給飼料生産総合振興対策事業	977.00
飼料基盤整備事業	922.50
地域畜産総合対策事業	655.41
緊急飼料生産向上特別対策事業	474.40
共同利用模範牧場設置事業	442.80
農業公社牧場設置事業	431.41
集約牧野造成事業	368.00
林野活用畜産環境総合整備モデル事業	282.35
自給飼料生産向上特別対策事業	275.60
改良牧野造成改良事業	188.00
公共育成牧場整備事業	187.92
県営公共牧場整備事業	130.76
公共牧場機能強化事業	90.74
強い農業づくり交付金飼料基盤活用の促進	25.00
畜産環境総合整備統合補助事業	1.00
合計	18,892.64

資料：県畜産課調査



(2) 公共牧場数と利用状況（平成27年7月1日現在）

(単位：か所、ha、頭)

地域名	牧場数	面積		放牧頭数			
		うち牧草地	計	乳用牛	肉用牛	馬・羊等	
東青	14	1,361	672	263	0	263	0
中南	3	172	56	51	0	51	0
三八	13	2,488	1,104	847	48	799	0
西北	13	1,130	580	523	0	523	0
上北	29	6,116	2,968	3,160	1,006	2,150	4
下北	22	2,999	1,353	813	26	743	44
県計	94	14,266	6,733	5,657	1,080	4,529	48

資料：県畜産課調査

(3) 水田転作による飼料作物の作付面積

(単位：ha)

区分	S55年	60年	H2年	7年	12年	17年	22年	24年	25年	26年
転作物面積①	17,672	14,851	20,797	13,949	22,907	21,032	22,843	25,493	25,598	27,802
飼料作物面積② ※	7,953	5,591	5,928	5,387	6,219	5,155	5,413	7,841	6,600	7,862
比率 (②/①)	45.0%	37.6%	28.5%	38.6%	27.1%	24.5%	23.7%	30.8%	25.8%	28.3%

※飼料用米含む

資料：県農産園芸課調査

3) 配合飼料

(1) 用途別入荷量

平成26年度の本県への用途別入荷量は約105万トンで、ほぼ前年度並となった。

(単位:トン、%)

区分	養鶏用			養豚用			牛用		その他 家禽用	配合・混合飼料	
	育すう	成鶏	ブロイラー	子豚	肉豚	種豚	乳牛用	肉牛用		合計	うち配合飼料
S55年度	32,682	186,744	81,558	95,783	33,521	23,657	26,710	64,051	1,154	545,860	512,877
60年度	36,937	228,050	107,481	146,692	34,176	42,909	36,199	103,598	3,346	739,388	718,852
H2年度	39,968	253,177	183,397	233,344	85,149	58,587	44,646	138,039	6,215	1,042,522	1,016,583
7年度	38,346	233,150	188,993	199,422	79,536	53,331	44,352	143,301	10,433	1,005,847	990,864
12年度	34,550	213,943	204,191	162,640	99,296	49,834	56,629	133,954	3,335	970,119	958,372
17年度	34,032	216,257	250,450	142,071	124,349	40,324	55,075	134,106	278	998,274	996,941
22年度	36,987	214,483	249,129	108,738	142,915	45,552	44,926	141,728	64	1,030,026	1,026,555
24年度	38,379	232,231	236,958	112,263	157,864	53,927	40,324	149,225	523	1,064,242	1,063,369
前年度比	104	108	95	103	110	118	90	105	817	103	104
25年度	37,964	237,587	241,054	105,752	159,208	53,252	38,503	141,482	1,297	1,059,630	1,058,689
前年度比	99	102	102	94	101	99	95	95	248	100	100
26年度	38,761	240,073	259,148	94,699	148,612	49,177	37,007	144,066	45	1,050,136	1,049,483
前年度比	102	101	108	90	93	92	96	102	3	99	99

資料:飼料月報

(2) 用途別生産量

平成26年度の用途別生産量は約190万トンで、ほぼ前年度並となった。

(単位:トン、%)

区分	養鶏用			養豚用			牛用		その他 家禽用	配合・混合飼料	
	育すう	成鶏	ブロイラー	子豚	肉豚	種豚	乳牛用	肉牛用		合計	うち配合飼料
S60年度	37,786	233,779	287,450	166,203	50,542	46,486	33,182	100,756	3,338	959,522	959,522
H2年度	51,022	306,290	433,446	291,848	120,048	80,641	68,564	168,681	10,293	1,530,833	1,530,833
7年度	46,329	311,027	447,485	250,820	111,773	69,574	48,793	140,946	10,496	1,437,243	1,437,243
12年度	52,923	381,432	523,579	171,904	145,867	74,410	51,070	133,387	2,662	1,615,609	1,595,867
17年度	53,334	369,661	598,559	168,046	187,447	90,890	60,514	115,829	445	1,714,420	1,710,511
22年度	56,969	338,738	636,562	168,587	221,140	86,279	60,914	159,337	363	1,791,923	1,789,322
24年度	63,148	399,110	689,061	168,500	240,853	92,818	73,618	201,473	704	1,993,635	1,993,028
前年度比	118	108	115	100	128	102	122	174	158	116	117
25年度	64,937	393,739	692,122	166,422	254,027	90,716	71,382	203,044	1,528	2,003,099	2,002,616
前年度比	103	99	100	99	105	98	97	101	217	100	100
26年度	61,229	383,893	696,367	148,668	238,632	88,456	69,716	183,580	354	1,929,337	1,928,754
前年度比	94	97	101	89	94	98	98	90	23	96	96

資料:飼料月報

第7章 家畜衛生

1) 家畜防疫事業

家畜伝染病、届出伝染病を中心とした家畜疾病の検査等を計画どおり実施した。

(単位：頭、羽、群)

事業区分		S60年度	H2年度	6年度	12年度	17年度	22年度	26年度	
検査事業	牛	ブルセラ病	16,155	11,473	11,625	3,819	5,825	3,486	1,203
		結核病	16,155	11,473	11,674	3,910	6,112	3,574	1,214
		ヨネ病	3,326	630	1,656	7,150	9,046	7,704	9,697
		アカバネ病	1,732	1,552	1,529	1,026	540	489	489
		牛白血病	1,244	1,036	1,034	617	500	530	975
		牛伝染性疾病	80,754	81,386	90,303	87,534	70,913	65,722	80,292
	馬	馬伝染性貧血	3,326	2,980	2,992	1,585	1,309	823	111
		馬伝染性子宮炎	2,540	641	652	496	385	266	0
		馬パラチフス	1,293	1,203	1,035	602	450	210	51
		馬鼻肺炎	410	413	447	300	230	209	40
	豚	豚オーエスキー病	1,098	6,143	4,359	4,612	4,220	4,961	2,463
		豚コレラ	—	—	—	—	—	520	500
		豚伝染性疾病	160,403	213,455	264,869	192,128	184,434	172,084	198,245
	家さん	ニューカッスル病 (一般)	5,600	6,190	6,340	5,110	4,977	4,935	4,800
		ニューカッスル病 (種鶏)	2,235	3,075	3,006	2,500	2,880	2,350	2,350
		家さんサルモネラ感染症 (種鶏)	7,590	8,050	8,000	6,500	4,807	3,950	4,000
		マイコプラズマ病 (種鶏)	8,440	8,050	8,200	6,500	5,004	3,850	4,100
		家さん伝染性疾病	680,094	334,220	370,730	288,997	304,995	439,510	301,325
	蜂	ふそ病	12,849	12,955	10,444	10,293	9,957	9,077	8,838
	自衛防疫注射事業	牛	牛伝染性鼻気管炎 (混合ワクチンを含む)	7,108	7,523	5,694	7,349	8,172	9,053
アカバネ病			104	13,816	9,569	9,323	8,430	8,015	7,493
気腫痘			437	7,012	16,820	12,956	12,072	0	0
牛クロストリジウム (混合)			—	—	—	—	—	8,569	6,913
炭痘			0	20	0	8	27	0	0
馬		馬インフルエンザ (混合ワクチンを含む)	1,546	1,320	1,492	234	204	710	690
		馬鼻肺炎	539	830	442	285	156	187	183
豚		豚丹毒	478,955	669,474	11,790	508,262	455,122	170,852	55,173
		豚バルボウイルス	1,081	153	1,699	23	0	47	0
		豚流行性脳炎・ 豚バルボウイルス混合	0	0	1,659	1,101	704	280	0
		豚流行性脳炎	619	15,946	11,208	2,987	2,839	1,550	851
鶏		ニューカッスル病	250,480	83,550	64,790	52,290	63,090	93,000	68,000
		ニューカッスル病 伝染性気管支炎混合	66,000	29,000	13,000	36,000	39,000	64,000	40,000

資料：県畜産課調査

2) 監視伝染病発生状況

牛のヨーネ病、牛白血病及び豚丹毒の発生が引き続きみられている。

(単位：頭、羽、群)

区 分											
		H18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
家畜伝染病 (法第2条)	ヨーネ病	14	13	23	12	8	29	40	38	25	5
	結核病										
	腐蛆病			4							
届出伝染病 (法第4条)	牛ウイルス性下痢・粘膜病	1				1	3				
	牛伝染性鼻気管炎	11	5								
	牛カンピロバクター症						1				
	牛白血病	16	19	32	44	32	39	30	29	44	42
	気腫疽				1						
	サルモネラ症・牛		11			2		8			2
	サルモネラ症・豚	4			1	3			4		
	破傷風(牛)	1									
	馬鼻肺炎	6									
	豚丹毒	22	41	30	150	169	112	37	9	67	37
	豚赤痢	2									
	豚流行性下痢									202	15
	鶏白血病	1									
	サルモネラ症・鶏			4							
	鶏伝染性気管支炎			8							
	鶏痘			1							
	マレック病				3						
	ロイコチトゾーン病								16		
レプトスピラ症・犬			1								
パロア病						6					

資料：県畜産課調査

第8章 環境保全

環境汚染発生状況

(1) 環境汚染の種類別発生件数

平成26年度の畜産環境汚染の発生は20件で、前年に比べて3件減少した。
原因別では「悪臭」に関するものが多く、発生件数全体の45%を占めている。

(単位：件)

内 訳	H2年度	6年度	12年度	17年度	22年度	24年度	25年度	26年度
悪 臭 発 生	43	52	14	7	7	12	9	9
水 質 汚 濁	25	19	1	4	6	5	9	3
害 虫 発 生	21	19	0	0	1	2	0	0
水 質 ・ 悪 臭	11	8	2	0	2	2	5	4
悪 臭 ・ 害 虫	16	6	2	2	2	2	0	2
そ の 他	5	7	0	0	3	0	0	2
計	121	111	19	13	21	23	23	20

※調査期間は各年度の7月1日～翌年6月30日

資料：県畜産課調査

(2) 畜種別発生件数

①畜種別合計

(単位：件)

内 訳	H2年度	6年度	12年度	17年度	22年度	24年度	25年度	26年度
豚	65	50	9	7	8	7	7	6
乳 用 牛	30	25	0	1	3	4	6	2
肉 用 牛	4	5	1	1	9	4	7	3
採 卵 鶏	21	23	9	2	1	1	3	4
ブロイラー	1	1	0	2	0	3	0	2
その他(馬・めん羊など)	0	7	0	0	0	4	0	3
計	121	111	19	13	21	23	23	20

※調査期間は各年度の7月1日～翌年6月30日

資料：県畜産課調査

②飼養規模別件数(畜種別合計の平成26年度内訳)

(単位：件)

		悪臭発生	水質汚濁	害虫	水質・悪臭	悪臭・害虫	その他	計
豚	1～49頭				1			1
	50～499頭	1						1
	500～999頭							0
	1,000頭以上	4						4
牛	1～19頭		1					1
	20～29頭							0
	30～49頭		1					1
	50～99頭				1			1
	100頭以上						2	2
採卵鶏	1～4,999羽				1			1
	5,000～9,999羽							0
	10,000羽以上	2				1		3
ブロイラー	1～9,999羽							0
	10,000～49,999羽	1						1
	50,000～99,999羽							0
	100,000羽以上		1					1
その他	1			1	1			3
計		9	3	0	4	2	2	20

資料：県畜産課調査

第9章 参考資料

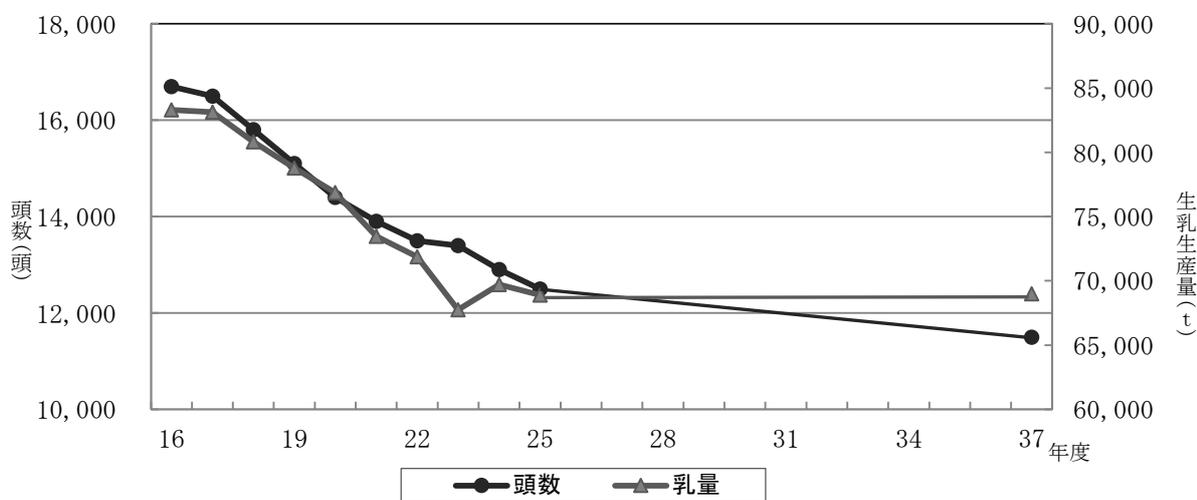
1) 青森県酪農・肉用牛生産近代化計画の目標

(1) 生乳の生産数量及び乳牛の飼養頭数の目標

(単位：頭、kg、t)

区分	総頭数 (頭)	成牛頭数 (頭)	経産牛頭数 (頭)	経産牛1頭当たり 年間搾乳量 (kg)	生乳生産量 (t)
現在 (25年度)	12,500	8,740	8,480	7,940	68,905
目標 (37年度)	11,500	8,070	7,800	8,850	69,000

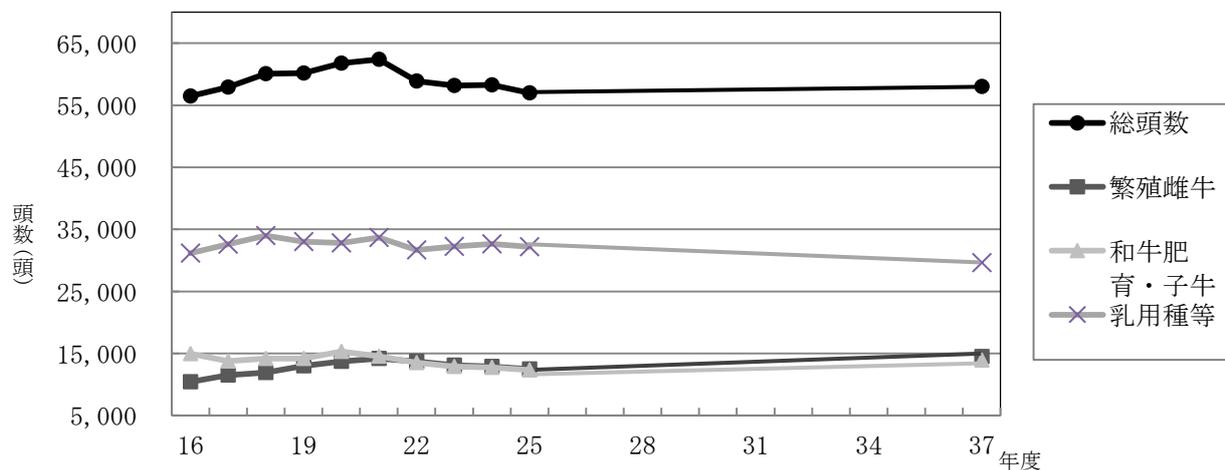
(注) 成牛とは、24ヵ月齢以上のものをいう。



(2) 肉用牛の飼養頭数の目標

(単位：頭)

区分	肉用牛 総頭数	肉専用種				乳用種等		
		合計	繁殖雌牛 (育成牛含む)	肥育牛	その他	合計	乳用種	交雑種
現在 (25年度)	57,000	24,800	12,500	8,450	3,850	32,200	23,300	8,900
目標 (37年度)	58,000	28,400	14,500	9,400	4,500	29,600	21,400	8,200

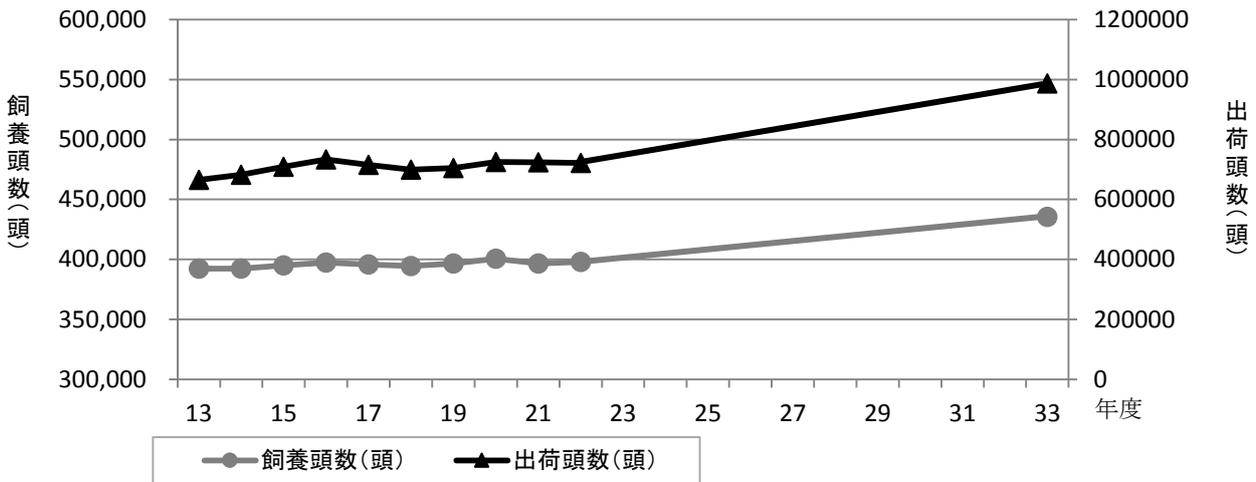


2) 青森県養豚・養鶏振興プランの目標

(1) 豚の飼養頭数の目標

区分	飼養頭数(頭)	出荷頭数(頭)
現在 (22年度)	391,200	722,010
目標 (33年度)	542,000	987,000

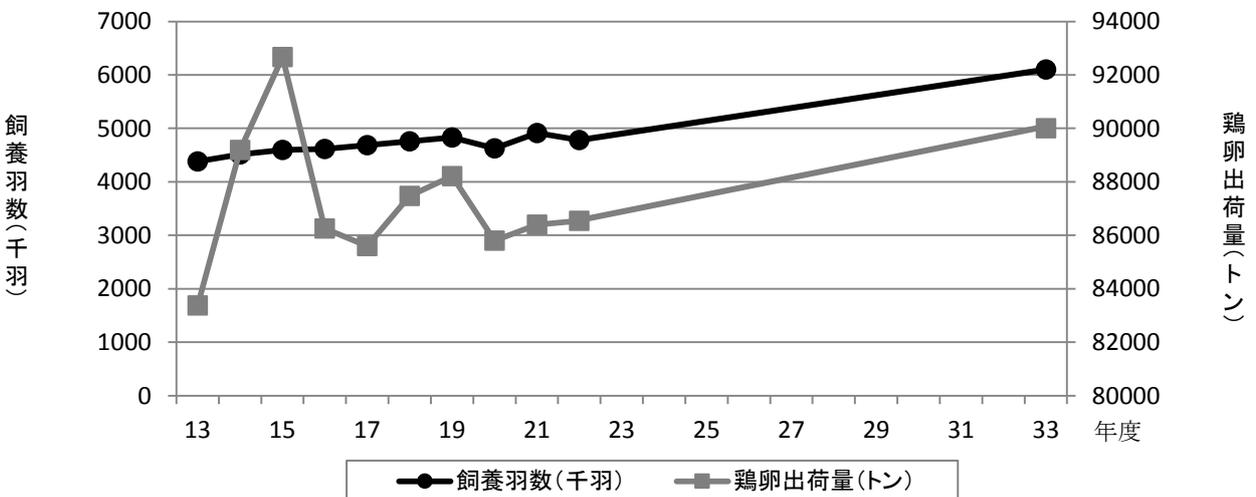
(注) 1. 22年度の飼養頭数は調査未実施のため、前後年の平均値で示した。
2. 出荷頭数は畜産課調査



(2) 採卵鶏の飼養羽数の目標

区分	飼養羽数(千羽)	鶏卵出荷量(トン)
現在 (22年度)	4,780	86,538
目標 (33年度)	6,100	90,000

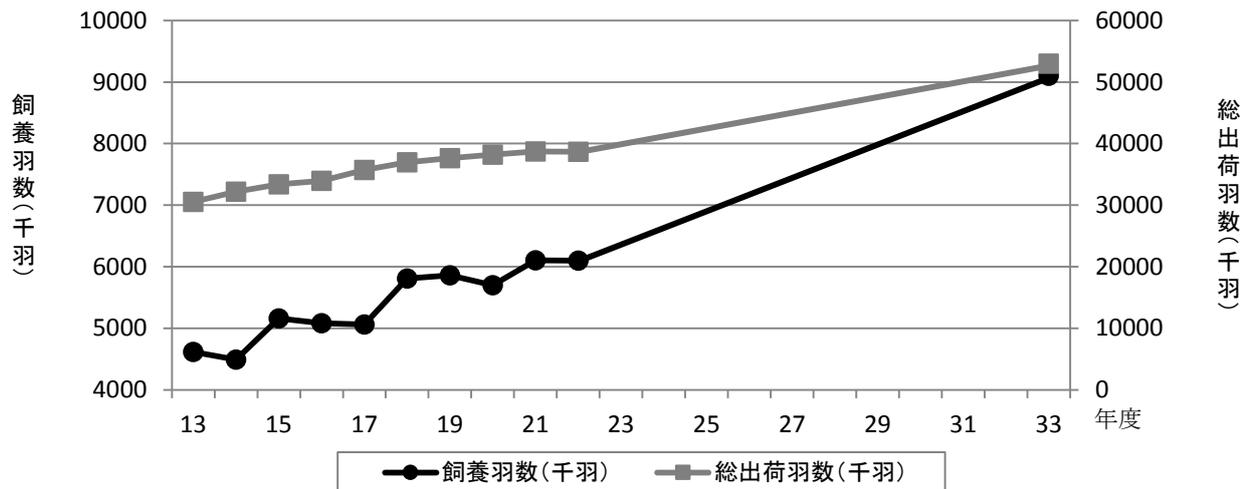
(注) 1. 飼養頭数は成鶏めす(6か月以上)の数
2. 22年度の飼養頭数は調査未実施のため、前後年の平均値で示した。



(3) ブロイラーの飼養羽数の目標

区 分	飼養羽数 (千羽)	総出荷羽数 (千羽)
現 在 (22年度)	6,100	38,700
目 標 (33年度)	9,100	53,000

(注) 22年度の飼養羽数は調査未実施のため、総出荷羽数を前年の回転率で除して算出



3) 畜産行政組織の概要

農 林 水 産 部

(平成28年3月1日現在)

		電話番号	FAX	郵便番号	住 所
畜 産 課	企画管理グループ	017-734-9495			
	経営支援グループ	017-734-9496			
	衛生・安全グループ	017-734-9498			
	飼料環境グループ	017-734-9497			
		734-8144	030-0861	青森市長島一丁目1-1	
東青地域 県民局	地域農林水産部 農業普及振興室	017-734-9965	734-8305	030-0861	青森市長島二丁目10-3
	青森家畜保健衛生所	017-764-1744	728-0335	030-0134	青森市大字合子沢字松森395-26
中南地域 県民局	地域農林水産部 農業普及振興室 黒石普及分室	0172-33-2902	34-4390	036-8345	弘前市蔵主町4
		0172-52-4335	53-4114	036-0524	黒石市緑ヶ丘95
三八地域 県民局	地域農林水産部 畜産課 農業普及振興室 三戸普及分室	0178-27-5111(代)	27-3323	039-1101	八戸市尻内町鴨田7
		0178-27-4444			
		0179-23-3264~6	23-3274	039-0134	三戸町同心町字同心町平54-7
	八戸家畜保健衛生所	0178-27-7415	27-7418	039-1101	八戸市尻内町毛合清水7-2
西北地域 県民局	地域農林水産部 畜産課 農業普及振興室 つがる普及分室	0173-72-6611	72-6618	038-2753	鯉ヶ沢町本町209
		0173-35-2345	33-1345	037-0046	五所川原市栄町10
		0173-42-2222	42-2272	038-3146	つがる市木造桜木9-1
	つがる家畜保健衛生所	0173-42-2276	42-6087	038-3151	つがる市木造若竹2-1
上北地域 県民局	地域農林水産部 畜産課 農業普及振興室 三沢普及分室	0176-22-8111(代)	22-9161	034-0093	十和田市西十二番町20-12
		0176-23-4281	25-7242		
		0176-53-2498	53-8539	033-0024	三沢市東岡三沢1-1-7
	十和田家畜保健衛生所	0176-23-6235	23-3044	034-0093	十和田市西十二番町19-23
下北地域 県民局	地域農林水産部 畜産課 農業普及振興室	0175-22-8581(代)	22-3212	035-0073	むつ市中央一丁目1-8
		0175-22-2685	22-3212		
	むつ家畜保健衛生所	0175-22-1254	22-1259	035-0072	むつ市金谷二丁目18-25

4) 試験研究機関

地方独立行政法人青森県産業技術センター

畜産研究所

繁殖技術肉牛部

中小家畜・シヤモロック部

酪農飼料環境部

和牛改良技術部

電話番号	FAX	郵便番号	住所
0175-64-2231	64-2230	039-3156	野辺地町枇杷野51
0173-26-3153	26-3205	038-2816	つがる市森田町森田月見野558

5) 行政区域・各機関所在地



6) 畜産関係機関・団体

(平成28年3月1日現在)

	名 称	郵便番号	住 所	電話番号	F A X
協 会 等	一般社団法人青森県畜産協会	030-0822	青森市中央2-1-15	017-723-2523	731-1196
	公益社団法人青森県獣医師会	030-0813	青森市松原2-8-2 獣医師会館内	017-722-5989	722-6010
	公益社団法人青森県獣医師会 食鳥検査センター	034-0001	十和田市大字三本木字野崎1-50	0176-58-0192	58-0913
	青森県養鶏協会	030-0847	青森市東大野2-1-15 青森県農協会館内	017-729-8799	752-8191
	一般社団法人青森県養豚協会	030-0813	青森市松原3-8-5	017-752-1027	777-1590
	青森県酪農協会	039-3104	上北郡野辺地町大月平33-1 JAゆうき青森らくのう支所内	0175-64-3241	64-3244
	青森県飲用牛乳協会	036-8071	弘前市大久保西田364 萩原乳業株式会社内	0172-32-1451	32-8726
	青森県家畜人工授精師協会	039-2624	上北郡東北町乙供63-239 全農青森県本部畜産酪農課内	0175-63-3551	65-5006
	一般社団法人青森県配合飼料 価格安定基金協会	030-0812	青森市堤町2丁目24-12 旭ビル4F	017-777-6543	775-5354
	青森県牛乳普及協会	030-0847	青森市東大野2-1-15 全農青森県本部畜産酪農課内	017-729-8631	762-1082
農 協 等	一般社団法人日本短角種登録協会 青森県支部	039-2567	上北郡七戸町鶴児平72-1	0176-60-1070	60-1073
	公益社団法人全国和牛登録協会 青森県支部	039-2567	上北郡七戸町鶴児平72-1	0176-60-1070	60-1073
	東北軽種馬協会	039-0814	三戸郡南部町坩渡字鮫ノ口8-13	0178-51-8765	84-2829
	全国農業協同組合連合会 青森県本部	030-0847	青森市東大野2-1-15 青森県農協会館内	017-729-8650	762-1082
	JA全農あおもり畜産酪農部 畜産酪農課牛乳冷却処理所	039-2664	上北郡東北町乙供63-239	0175-63-3551	65-5006
	青森県畜産農業協同組合連合会	039-2567	上北郡七戸町鶴児平72-1	0176-60-1070	60-1073
	ゆうき青森農業協同組合 らくのう支所	039-3104	上北郡野辺地町大月平33-1	0175-64-3241	64-3244
	青森県農業共済組合連合会	030-0802	青森市本町5-5-21	017-775-1161	775-1170
	青森県軽種馬生産農業協同組合	039-0814	三戸郡南部町坩渡字鮫ノ口8-13	0178-51-8765	84-2829
	公益社団法人あおもり農林業 支援センター	030-0801	青森市新町2-4-1 県共同ビル6階	017-773-3131	734-1738
そ の 他	青森県食肉事業協同組合連合会	030-0113	青森市第二間屋町3-5-25 株式会社いしおか内	017-729-8078	050- 1197-8559
	青森県養蜂協会	030-0822	青森市中央2-1-15 (一社)青森県畜産協会内	017-723-2523	731-1196
	青森シャモロック生産者協会	030-0822	青森市中央2-1-15 (一社)青森県畜産協会内	017-723-2523	731-1196
	青森県農業会議	030-0802	青森市本町2-6-19 青森県土地改良会館4階	017-774-8580	774-8588

7) 畜産関係施設

	名 称	郵便番号	住 所	電話番号	F A X
家畜市場	青 森 県 家 畜 市 場 (青森県畜産農業協同組合連合会)	039-2567	上北郡七戸町鶴児平72-1	0176-60-1070	60-1073
	八 戸 産 地 家 畜 市 場 (八戸畜産農業協同組合)	039-0814	三戸郡南部町朧渡鮫ノ口8-13	0178-84-4448	84-4449
	三 本 木 産 地 家 畜 市 場 (三本木畜産農業協同組合)	034-0001	十和田市三本木野崎40-433	0176-23-3581	23-5040
	おいらせ農協産地家畜市場 (おいらせ農業協同組合)	039-2372	上北郡六戸町折茂上折茂94-1	0176-55-2029	55-3392
	八戸サラブレッド家畜市場 (青森県軽種馬生産農業協同組合)	039-0814	三戸郡南部町朧渡鮫ノ口8-13	0178-51-8765	84-2829
食肉センター	日本フードパッカー津軽株式会社	038-1141	南津軽郡田舎館村川部富岡84-1	0172-58-4652	58-4664
	三 沢 市 食 肉 処 理 セ ン タ ー	033-0022	三沢市三沢淋代平116-3101	0176-59-3567	59-2865
	株 式 会 社 三 戸 食 肉 セ ン タ ー	039-0122	三戸郡三戸町斗内中堤9-1	0179-25-2211	25-2213
	十 和 田 食 肉 セ ン タ ー	034-0001	十和田市三本木野崎1	0176-23-7321	23-7324
主な乳業工場	日 本 フ ー ド パ ッ カ ー 株 式 会 社 青 森 工 場	039-2206	上北郡おいらせ町松原2-132-1	0178-52-3181	52-6855
	萩 原 乳 業 株 式 会 社	036-8071	弘前市大久保西田364	0172-32-1451	32-8726
	財 団 法 人 新 郷 村 ふ る さ と 活 性 化 公 社	039-1801	三戸郡新郷村戸来雨池11-2	0178-78-2511	78-2522
	有 限 会 社 斗 南 丘 牧 場	035-0021	むつ市田名部内田42-606	0175-28-2888	28-2889
	財 団 法 人 十 和 田 湖 ふ る さ と 活 性 化 公 社	034-0301	十和田市奥瀬堰道39-1	0176-72-3201	72-3204

8) 県内の特徴的な動き(平成27年度)

(1) 乳用後継牛の県内確保の取組

県では、酪農経営における乳用後継牛を確保するため、性判別精液の活用や哺育育成施設の整備に支援しました。

また、将来酪農ヘルパーや牛群検定に携わる人材や酪農後継者の育成に向け、農業高校生などを対象に本県酪農の理解醸成を図るための先進施設研修等に取り組んでいます。



農業高校生の酪農研修

(2) 獣医師確保対策の実施

県では、平成24年1月に「青森県獣医師職員確保プラン」を策定し、将来にわたり県獣医師職員を安定的に確保するため、インターンシップや中学・高校への出前講座の実施、獣医系大学生への修学資金の給付などに取り組んでいます。



高校への出前講座

(3) 飼料用米を有効活用するための新たな取組

十和田市や三戸町などの肉用牛農家では、コスト低減のため、乾燥が不要で屋外保管が可能な稲ソフトグレインサイレージ(稲SGS)の生産に取り組んでいます。稲SGSは、飼料用米を粉砕・発酵させるため消化性や嗜好性に優れるなど、飼料用米を有効活用するための新たな取組として注目されています。



稲SGS

(4) キャトルセンター整備による肉用牛増頭の取組

三八地域では、畜産担い手育成総合整備事業を活用して草地造成や周年預託施設（キャトルセンター）、堆肥舎等を新たに整備し、五戸町宮ブドロク放牧場を核とした肉用牛の地域内一貫生産に取り組んでいます。



ブドロク放牧場



周年預託施設

(5) 全国和牛能力共進会宮城大会に向けた出品強化の取組

県では、平成29年9月に宮城県で開催される全国和牛能力共進会での上位入賞に向けて、県基幹種雄牛「優福栄」産子を利用した、血液分析による肥育素牛の栄養状態の確認や、アイミートによる肉質調査により、早期肥育の実証事業に取り組みました。



血液分析のための採血



アイミートによる肉質診断

(6) 県産畜産物の消費拡大対策

県では、県産畜産物の消費拡大に向け、畜産関係団体の協力のもと、公益社団法人青森県観光連盟が主催する「あおりたまごかけごはんまつり」に合わせて開催した「あおり大畜産まつり」で消費者に対するPRに取り組みました。



あおり大畜産まつり

9) 県基幹種雄牛

平安平

ひらやすひら



平成27年11月
基幹種雄牛指定

黒原5383 (82.9)

生年月日：平成21年5月22日

産地：三戸郡三戸町

繁殖者：大平 美智夫

安平

(宮崎・宮崎)

黒原2208

直検1.24

間検0.95 3.0

安福(宮崎)

(兵庫・美方)

黒原1255

きよふく

(岐阜・高山)

黒原568518

平茂勝

(鹿児・薩摩)

黒原2441

直検1.47

間検1.01 3.3

ふくしげかつ

(岩手・北上)

黒原1195112

やすふくとみ

(岩手・北上)

黒2009076

田安土井

(兵庫・美方)

かずよ

(兵庫・美方)

安福(岐阜)

(兵庫・美方)

きよしげ

(岐阜・高山)

第20平茂

(鳥取・八頭)

ふくみ

(鹿児・曾於)

安福165の9

(岐阜・高山)

とみおか

(岩手・胆沢)

「第1花園」の娘牛に交配する種雄牛として造成され、現場後代検定では、BMSナンバー平均7.8と、本県がこれまでに実施した現場後代検定58頭において最も優れた成績を記録しました。

検定成績から「第1花園」との相性の良さだけでなく、仕上がりの早さも期待されています。

測定値 登録審査時 (24か月齢)

体高	142.0
体長	165.4
胸囲	193.0
胸深	73.0
尻長	57.0
かん幅	48.0
体重	568.0

直接検定 1.11
現場検定(平均 n=16)
BMS 8.2 枝重 465kg

推奨交配パターン

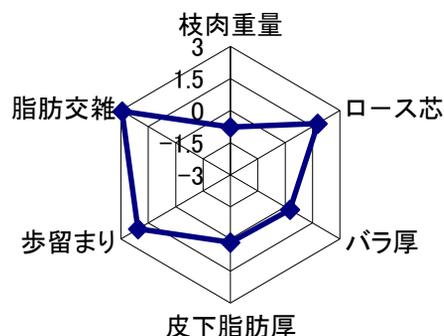
「第1花園」等の糸桜系雌牛



現場検定調査牛(平成26年6月18日)

めず(平安平×第1花園×寿高) 455.0kg 72cm² BMS12

育種価	育種価	順位	正確度
枝肉重量	11.963	804	0.876
ロース芯	14.957	26	0.873
バラ厚	0.799	273	0.853
皮下脂肪	-0.318	730	0.884
推定歩留	2.723	22	0.887
脂肪交雑	2.698	2	0.902



平成27年10月第41回育種価評価から
順位は1,868 頭中の順位

第1花国

だいいちはなくに



黒12510 (82.8)

生年月日：平成5年5月28日

産地：青森県つがる市

繁殖者：青森県産業技術センター

畜産研究所和牛改良技術部

北国7の8 (島根・大田) 黒原1530 直検1.30 間検0.94 2.7	第7糸桜 (島根・仁多) 黒原65 直検1.38 間検1.02 +3.4 きたぐに7 (島根・大田) 黒原81009	第14茂 (岡山・苫田) 第9いとまくら (島根・仁多) 晴美 (鳥取・八頭) もりなか (島根・大田)
あおはな (島根・能義) 黒1884989	花桜 (島根・飯石) 黒原1637 直検1.21 間検0.87 2.6 第2あおひろ (島根・能義) 黒原81009	糸花 (島根・飯石) 第5いとしげ (島根・飯石) 糸光 ◆ (島根・飯石) あおひろ (島根・能義)

青森県を代表する質量兼備の種雄牛であり、本牛の産肉能力の高さは、全国規模の枝肉共例会での数々の受賞歴により証明済みです。

最近「安福久」の娘牛との相性の良さの他、2代祖としても能力を発揮しています。

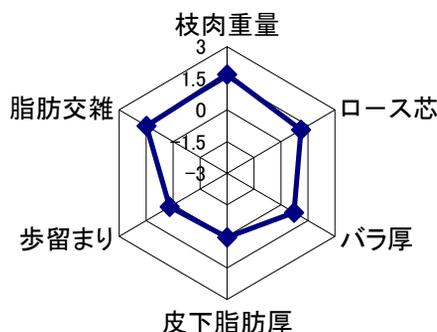
推奨交配パターン

「安福久」等の兵庫系雌牛全般
「百合茂」等の気高系雌牛全般

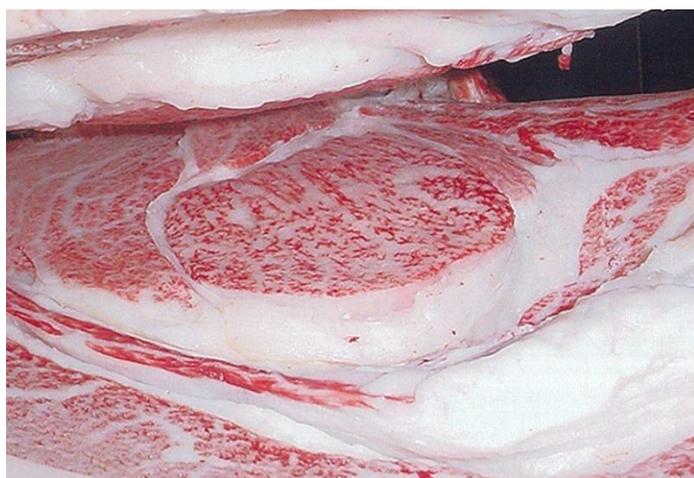
測定値	
体高	153.5
体長	188.6
胸囲	221.0
胸深	84.5
尻長	62.5
かん幅	52.5
体重	826.0

直接検定	1.36
間接検定	1.03 2.7
H8	43 72.8

育種価	育種価	順位	正確度
枝肉重量	82.432	30	0.995
ロース芯	12.482	74	0.995
バラ厚	0.959	169	0.995
皮下脂肪	-0.289	809	0.996
推定歩留	1.533	402	0.996
脂肪交雑	2.118	33	0.996



平成27年10月第41回育種価評価から
順位は1,868頭中の順位



第5回全農枝肉共励会名誉賞(平成15年7月11日)
去勢(第1花国×安福165の9×恒徳) 506kg BMS12

第2花国

だいにはなくに



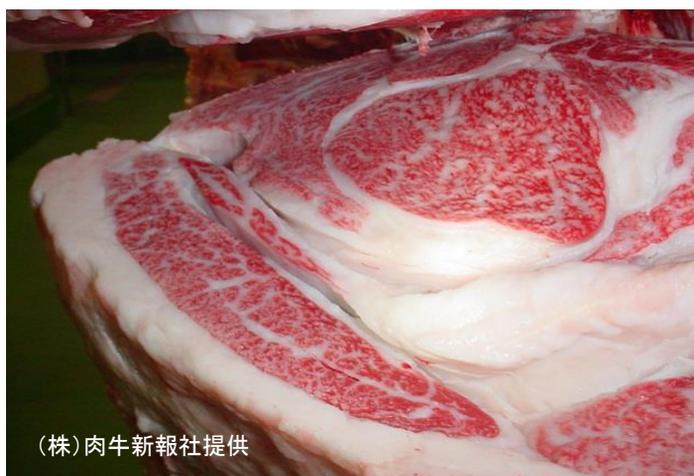
平成20年2月
基幹種雄牛指定

「第1花国」の全妹「第5はなくに」に「第1花国」を交配し、いっそう糸桜系の近交係数を高めた種雄牛です。

第10回全国和牛能力共進会長崎大会において、第9区(去勢肥育牛の部)に産子2頭が出品され、2頭とも優等賞を獲得しています。

推奨交配パターン 兵庫系及び気高系雌牛全般

測定値	
体高	144.0
体長	171.4
胸囲	208.0
胸深	78.0
尻長	60.0
かん幅	52.0
体重	700.0



(株)肉牛新報社提供

平成25年度あおもり和牛枝肉共励会最優秀賞(平成25年11月13日)
去勢(第2花国×平茂勝×北国7の8) 548kg BMS12

黒13847(82.9)

生年月日:平成14年8月18日

産地:青森県つがる市

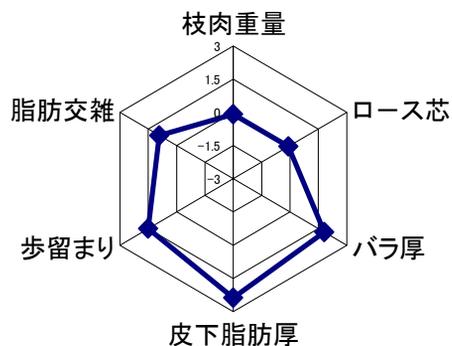
繁殖者:青森県産業技術センター

畜産研究所和牛改良技術部

第1花国 (青森・つが) 黒12510 直検1.36 間検1.03 2.7	北国7の8 (島根・大田) 黒原1530 直検1.30 間検0.94 2.7 あおはな (島根・能義) 黒1884989	第7糸桜 (島根・仁多) きたぐに7 (島根・大田) 花桜 (島根・飯石) 第2あおひろ (島根・能義)
第5はなくに (青森・つが) 黒2025076	北国7の8 (島根・大田) 黒原1530 直検1.30 間検0.94 2.7 あおはな (島根・能義) 黒1884989	第7糸桜 (島根・仁多) きたぐに7 (島根・大田) 花桜 (島根・飯石) 第2あおひろ (島根・能義)

直接検定 1.17
現場検定(平均 n=14)
BMS 7.1 枝重 395kg

育種価	育種価	順位	正確度
枝肉重量	31.727	393	0.992
ロース芯	8.014	374	0.992
バラ厚	1.323	35	0.991
皮下脂肪	-0.895	55	0.993
推定歩留	2.369	72	0.993
脂肪交雑	1.886	115	0.994



平成27年10月第41回育種価評価から
順位は1,868頭中の順位

優福栄

ゆうふくさかえ



平成24年3月
基幹種雄牛指定

黒14419 (81.9)

生年月日：平成18年12月17日

産地：三戸郡田子町

繁殖者：青森県産業技術センター

畜産研究所和牛改良資源部

福栄 (鳥取・鳥取) 黒原2886 直検1.31 間検0.92 2.6	安福(岐阜) (兵庫・美方) 黒原930 間検0.88 +4.1	安谷土井 (兵庫・美方) ちずる (兵庫・美方)
さわゆう (青森・下北) 黒原933908	はるみ (兵庫・美方) 黒原849705	菊照土井 (兵庫・美方) てつや (兵庫・美方)
	丸優 (兵庫・美方) 黒原1003 直検1.21	菊安土井 (兵庫・美方) すずよし (兵庫・美方)
	第2さわふく (青森・下北) 黒1827582	金福 (兵庫・美方) 第2さわはた3 (青森・下北)

「第1花園」娘牛との交配を意識して
作出した三代兵庫系の種雄牛です。

平成27年度から一般の枝肉出荷が開始し、安定した上物率から本県の兵庫系のエースとして評価されています。

すでに本牛は死亡しているため、現在、後継牛の作出を行っています。

測定値	
体高	149.0
体長	171.6
胸囲	215.0
胸深	79.0
尻長	63.0
かん幅	51.0
体重	699.0

推奨交配パターン

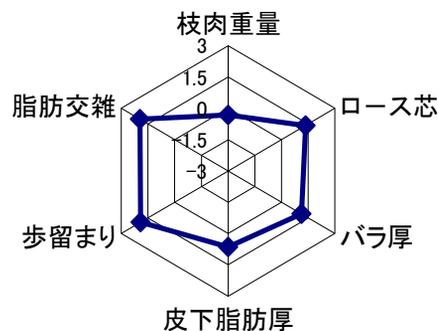
(肥育用)「第1花園」の娘牛
(種牛用) 兵庫及び気高系雌牛

直接検定 1.07

現場検定(平均 n=23)

BMS 6.7 枝重 458kg

育種価	育種価	順位	正確度
枝肉重量	24.912	489	0.963
ロース芯	13.373	48	0.962
バラ厚	1.090	112	0.954
皮下脂肪	-0.446	475	0.966
推定歩留	2.630	28	0.967
脂肪交雑	2.304	15	0.972



平成27年10月第41回育種価評価から
順位は1,868 頭中の順位



(株)肉牛新報社提供

第13回JAみやぎ登米「仙台牛」枝肉共進会(平成28年2月10日)
チャンピオン賞 去勢(優福栄×安福久×福華1)528kg 112cm² BMS12

光 茂

みつしげ

黒原5163 (83.6)
 生年月日：平成19年8月15日
 産 地：十和田市
 繁 殖 者：沢目 政光



平茂勝 (鹿児・薩摩) 黒原2441 直検1.47 間検1.01 8.3	第20平茂 (鳥取・八頭) 黒原287 間検0.81 +3.8	気高 (鳥取・鳥取) 第13ひらしげ (鳥取・鳥取)
かずふく (青森・十和) 黒原1063235	ふくみ (鹿児・曾於) 黒原301048	宝勝 (鹿児・鹿屋) はつこ (鹿児・曾於)
	北国7の8 (鳥根・大田) 黒原1530 直検1.30 間検0.94 2.7	第7糸桜 (鳥根・仁多) きたぐに7 (鳥根・大田)
	ふくこ2 (青森・十和) 黒原946211	安福165の9 (岐阜・高山) かづたま (岩手・奥州)

現場後代検定では安定した産肉能力を発揮し、特に枝肉重量において育種価が+100kgを超えるなど、優れた能力を示しています。温厚な性質から買いやすいのも特徴的です。

平成28年度から開始する一般の枝肉出荷が期待されています。

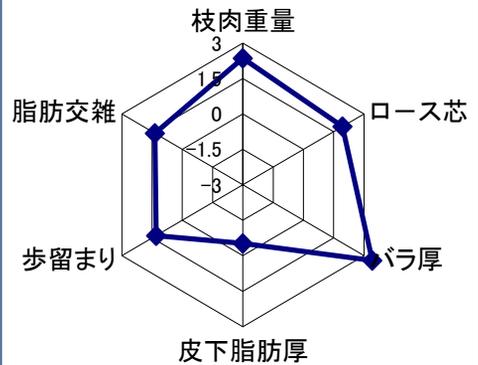
測定値	
体高	148.2
体長	184.0
胸囲	218.0
胸深	79.0
尻長	61.0
かん幅	55.0
体重	789.0

直接検定 1.29
 現場検定(平均 n=17)
 BMS 6.0 枝重 484kg

推奨交配パターン 「第1花園」及び兵庫系の雌牛

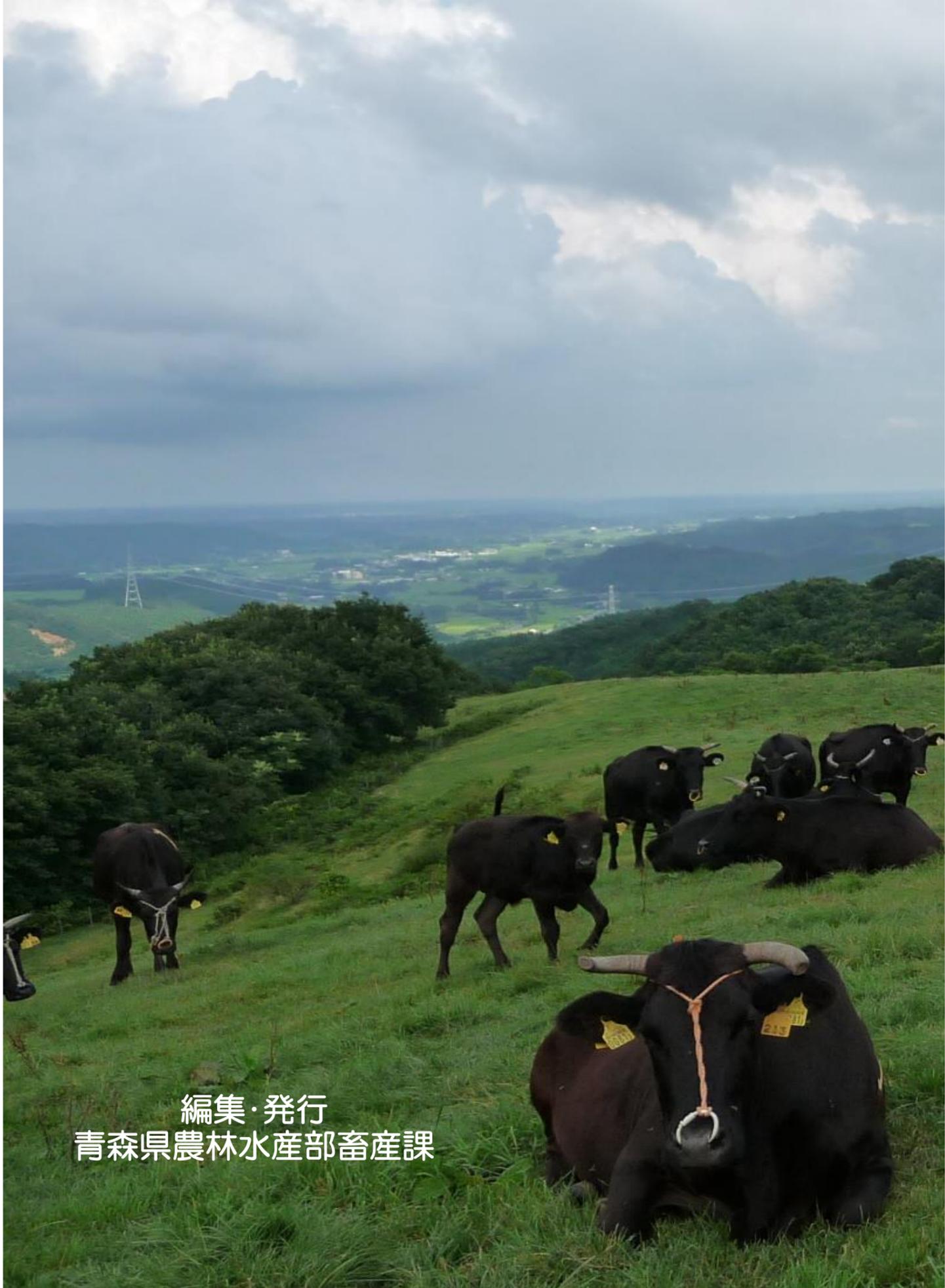


育種価	育種価	順位	正確度
枝肉重量	101.329	9	0.883
ローズ芯	15.541	16	0.880
バラ厚	1.865	3	0.861
皮下脂肪	-0.138	1150	0.891
推定歩留	2.237	96	0.894
脂肪交雑	2.067	46	0.908



平成27年10月第41回育種価評価から
 順位は1,868 頭中の順位

一般出荷(平成25年3月26日)
 去勢(光茂×第1花園×安平) 567.5kg 71cm² BMS10



編集・発行
青森県農林水産部畜産課